岡山大学経済学会雑誌 55（1），2023，55 ～ 76

《研究ノート》

ザクセン王国経済発展の基礎・続

松　尾　展　成
（岡山大学名誉教授）

第７節　県と郡の産業別人口（1849－1907年）

前稿[1]第７表の1849年の（2），（3）と（4），1861年の（2）と（3）および1875年の産業別人口統計は，王国合計についてのみ公表されている．それに対して，同表の1849年（1），1861年（1），1871年，1882年，1895年と1907年の統計の原表は，郡の数値を含み，その中の前３者の原表は都市・農村別の数値も含む．本稿は，先ず，1849年から1907年までの統計における県（中級行政区域）と郡（下級行政区域）の産業別人口を検討する．なお，以下では1849年を49年，1907年を07年，などと略記する．本稿は1849年から1907年までの統計を検討するから，上２桁数字を省略しても，年の数字は重ならない．

異なった時期の県と郡の人口を比較するためには，領域が同じでなければならない．領域について考慮すべき問題は，次のものである．第１．1835年以後の県域は殆ど変更されていないが，例外はシュトルペン管区（最下級行政区域）の所属県である．同管区は，1835年まで本領地域マイセン県Ⅲ郡に，35年から56年までB県Ⅰ郡に，そして，シュトルペン裁判管区は56年から74年までD県Ⅲ郡に，属した[2]．すなわち，シュトルペン管区の所属県は56年に変更された．そのために，D県とB県の49年と61年の人口を比較するためには，当時の行政的管轄を無視して，49年のシュトルペン管区の人口[3]（農業13,958，工業11,580，商業762，その他とも計28,613）を，一方では，B県Ⅰ郡に加算せず，B県の当該人口から差し引き，他方では，それをD県Ⅲ郡とD県に加算せねばならない．本稿第10（1）表（表番号は前稿と通し番号）における49年のD県と同県Ⅲ郡およびB県と同県Ⅰ郡の人口（-49）は，前稿第７表における1849年の両県と両郡の人口をこのようにして修正したものである[4]．

第２に，71年の協定所領と82年のGla郡の関係はどうか（郡の領域一般については後述）．シェーンブルク家協定所領（表で所領と略記）は78年に廃止され，その主要部はグラウヒャウ郡となり，残りの部分はシュヴァルツェンベルク郡とツヴィカウ郡に配分された．本稿第10（2-3）表の関連個所[5]によれば，71年と82年の協定所領（82年はGla郡），Schw郡，Zwi郡とZ県の人口計，および，それに基づく人口増減率は，第９（1）表左側３欄のとおりであり，Schw郡とZwi郡の増加率はZ県のそれを遥かに超えていた．これら両郡の高い増加率は，少なくとも，それの相当部分は，82年の両郡の郡域が71年よりも拡大し，人口が増加したために，生じたであろう．また，82年のGla郡の人口（Gla-82）は，同郡の領域が協定所領よりも縮小したために，協定所領（協定-71）のそれの94％に減少した．ブラシュケ[6]によれば，82年と同じ領域の71年の３郡人口は，Gla-71*，Schw-71*とZwi-71*（第９（1）表右側「71年郡計」欄）のとおりであった．「71年郡計」の数値に基づけば，Gla-71*は協定-71よりも16,218人（協定-71の12％だけ）少なく，Schw-71*はSchw-71よりも8,575人だけ，Zwi-71*はZwi-71よりも6,027人だけ，多かった．また，この数値による，82年の増加率（第９（1）表右側「増減率」欄）はZwi郡のみがZ県よりも高く，Gla郡とSchw郡は低かった．ただし，Gla-71*が協定-71よりも少ない人数（16,218人）は，Schw郡とZwi郡の合計増加数（14,602人）よりも多い．この不一致の原因は筆者には不明であるが，両郡の上記合計増加数の中で59％

がSchw-71*に，41％がZwi-71*に，属したことになる．そこで，先ず，協定-71の減少数（16,218人）の６割がSchw-71*に，４割がZwi-71*に，帰属した，と想定し，次に，71年の協定所領の産業別人口構成が全域で同じであった，と想定しよう．この想定の下で，協定-71の農業，工業と商業人口の減少数を関連両郡に配分すると，71年の産業別人口は，第９（2）表左側４欄のGla-71*，Schw-71*とZwi-71*のようになる．なお，第10（2-3）表には，第10（1）表の協定-49および協定-61との比較のために，協定-71も付加した（Z県-71には加算していない）．

第９（1）表　Z県３郡人口増減率（1871－82年）

郡	71年	82年	増減率	郡	71年郡計	増減率	農村計
協定-71	131,328						
Gla-82		123,617	94％	Gla-71*	115,110	107％	53,755
Schw	73,888	92,891	126％	Schw-71*	82,463	113％	48,264
Zwi	153,037	195,872	128％	Zwi-71*	159,064	123％	93,584
Z県	957,500	1,125,055	117％				

第９（2）表　Z県３郡の産業別人口（1871年）

郡	農業	工業	商業	郡計	農業	工業	商業	農村計
協定-71	11,578	94,672	9,410	131,328	（10,643）	（41,987）	（2,668）	（62,035）
Gla-71*	10,189	83,311	8,281	115,110	（9,259）	（36,529）	（2,321）	（53,755）
					{17％} /91％/	{68％} /44％/	{4％} /28％/	
減少数	1,389	11,361	1,129	16,218	（1,384）	（5,458）	（347）	（8,280）
６割（５割）	833	6,817	677		（692）	（2,729）	（174）	
Schw-71	6,248	49,237	7,435	73,888	（5,204）	（30,071）	（4,336）	（45,021）
Schw-71*	7,081	56,054	8,112	82,463	（5,896）	（32,800）	（4,510）	（48,264）
					{12％} /83％/	{68％} /59％/	{9％} /56％/	
４割（５割）	556	4,544	452		（692）	（2,729）	（174）	
Zwi-71	20,206	96,420	13,990	153,037	（19,228）	（54,430）	（8,440）	（90,163）
Zwi-71*	20,762	100,964	14,442	159,064	（19,920）	（57,159）	（8,614）	（93,584）
					{21％} /96％/	{61％} /57％/	{9％} /60％/	

以下の第10（1）表は，49年と61年の，第10（2-1, 2-2, 2-3, 2-4）表[7]は，71年，82年，95年と07年の，郡・県・王国の産業別人口を示す．第10（1）表と第10（2）表において，［％］は対王国総人口比で，〈％〉は郡・県・王国人口の産業別構成比である．計には，農業・工業・商業以外の「その他」の人口を含ませたために，本表の農業・工業・商業の比率合計は常に100以下である．なお，①郡は農村ばかりでなく，都市も含んでいた．74年以後の郡独立都市は当該郡に含ませた．80年に分割された，ドレースデン旧市郡と同新市郡は統合した．1900年に分割された，ケムニツ県と新ツヴィカウ県は，ツヴィカウ県に統合した．分割前の県あるいは郡と比較するためである．②49年の人口は51管区と４県について公表されたが，本表は前者を15郡に集約した．③61年と71年の統計は，26郡に加えて，122裁判管区の数値を含むけれども，それの紹介は省略した．④協定所領（71年統計まで）は１郡と見なした．⑤男女の数値は合計した（本稿で検討する，多くの統計で男女合計は公表されていない）．⑥82年調査は小産業区分で公表された．すなわち，農業は２に，商業は５に，「その他」は，無職者を含めて３に，工業は17に，小区分されていた．しかし，大区分の合計がない．筆者は，電卓を叩いて，大区分の第10（2）表-82を作成したけれども，計算結果に誤りがあるのではないか，と恐れている．

第１に，王国の人口を概観すると，49年から07年までの58年間に，王国の総人口は増加し続けた．前の

調査年に対する増加率は，61年117％，71年115％，82年118％，95年124％，07年122％であり，07年は49年に対して242％であった．農業人口は，82年の増加を除いて，減少し，農業人口の構成比は，82年の上昇を除いて，低下し続けた．07年の王国農業人口は71年よりも大きかったが，その構成比は71年よりも低かった．49年に32％であった農業人口比率は，07年には11％に低下した．農業の対王国総人口比は，82年の上昇を除いて，低下し続けた（95年のそれは71年よりも低かった）．工業人口と商業人口は増加し，工業と商業の対総人口比は上昇し続けた．ただし，71年の工業人口の構成比だけは，61年よりも低かったけれども，71年の同比率は49年よりも高く，71年の工業人口は61年よりも大きかった．単純化して，49年と07年だけを比較すると，工業人口比率は，既に49年に５割を超えていたが，07年には６割に近づいた．49年に農業人口の1.6倍であった工業人口は，07年には5.5倍に増加した．また，商業人口の対総人口比は49年に５％であったが，71年に１割に上昇し，07年には15％に達した．

なお，82年に王国の農業・工業・商業人口は71年よりも増加し，その対総人口比は上昇した．しかし，農業人口などの増加と比率上昇のかなりの部分は，前稿第６節で述べたように，統計作成方式の変化に起因した．すなわち，一括して，１区分とされていた「奉公する人」が，82年にはその雇い主の部門に分類されたために，区分「奉公する人」の人数が激減して，農業・工業・商業の人口が増加し，前者の構成比が低下し，後者のそれが上昇したのである．

第２に，県の人口計は49年から07年まで全４県で増加し続けた．全４県の農業人口は，82年の増加を除いて，減少し，その構成比は，82年の上昇を除いて，低下し続けた．07年の農業人口は71年よりも大きかったが，その構成比は71年よりも低かった．農業人口比率は，49年と07年を取ると，D県とL県で36％→11％，Z県で25％→８％，B県で37％→20％，へ低下した．全４県で工業人口と商業人口は増加し，各県人口計に占める，工業と商業の比率は，上昇し続けた．71年の工業人口の構成比だけは，61年よりも低かったけれども，71年の同比率は49年よりも高かった（71年の工業人口は，L県を除いて，61年よりも大きかった）．工業人口比率は，既に49年にB県で５割を，Z県で６割を，超えていたが，D県とL県が95年に５割を超えた．同比率は07年にはB県で57％，Z県で66％に達した．工業人口はD県で49年に農業人口の1.1倍から07年の4.6倍へ，L県で1.2倍から5.0倍へ，Z県で2.5倍から8.8倍へ，B県で1.4倍から2.9倍へ，増加した．このように，農業人口と比較して，本領地域３県では工業人口が大きく増加したのに対して，B県では工業人口の対農業増加率は低かった．

49年から07年までに県人口計の対王国総人口比は，概略で見て，Z県はほぼ同じ37％であり，L県は23％→25％に，D県は25％→28％に，上昇し，B県は15％→９％に低下した．農業人口の対総人口比は，82年にいくらか上昇したけれども，49年と07年を取ると，全４県で大きく低下した．すなわち，D県とZ県が９％→３％，L県８％→３％，B県６％→２％，であった．工業人口の対総人口比は，D県10％→15％，L県10％→14％，Z県23％→25％，へ上昇し，B県だけは８％→５％へ低下した．

このように，49年と07年を取ると，県人口計の対総人口比は，Z県はほぼ同じで，L県とD県は上昇し，B県は低下した．工業人口の対総人口比は，本領地域３県で上昇し，B県で低下した．人口計と工業人口における本領地域３県，特にL県とD県，の地位上昇とB県の地位低下が特徴的であった．もちろん，Z県の人口計と工業人口は最大であった．

なお，この期間に商業人口の対総人口比は，82年と07年のB県を除いて，全４県で上昇し続けた．

第３に，郡の人口を検討する場合に，王国，４県（49年のD県とB県の微調整については上記）および71年以後の郡と異なって，49年，61年と71年の統計における郡の数値の比較は，筆者には不可能である．49年の15郡の郡名は61年のそれと同じであるけれども，両年の郡域は同じでなく（協定所領のみは同じ），71年の26郡の郡域は61年の郡のそれよりも遥かに狭かった（特にZ県とB県の郡数は倍増した）からである．

第10（1）表　郡の産業別人口（1849年と1861年）

郡	農業	工業	商業	郡計	農業	工業	商業	郡計
Ⅰ郡-49	42,334 [2.23%]	75,784 [4.00%]	11,395 [0.60%]	176,340 [9.31%]	〈 24%〉	〈 43%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(39,550 [2.09%])	(25,850 [1.36%])	(2,484 [0.13%])	(74,914 [3.95%])	｛ 53%｝/93% /	｛ 35%｝/34% /	｛ 3%｝/22% /	｛100%｝/42% /
Ⅰ郡-61	47,639 [2.14%]	116,713 [5.24%]	27,339 [1.23%]	251,207 [11.29%]	〈 19%〉	〈 46%〉	〈 11%〉	〈100%〉
	(44,784 [2.01%])	(51,154 [2.30%])	(6,201 [0.28%])	(112,141 [5.04%])	｛ 40%｝/94% /	｛ 46%｝/44% /	｛ 6%｝/23% /	｛100%｝/45% /
Ⅱ郡-49	52,154 [2.75%]	29,396 [1.55%]	3,641 [0.19%]	97,198 [5.13%]	〈 54%〉	〈 30%〉	〈 4%〉	〈100%〉
	(51,647 [2.73%])	(16,965 [0.90%])	(2,383 [0.13%])	(78,566 [4.15%])	｛ 66%｝/99% /	｛ 22%｝/58% /	｛ 3%｝/65% /	｛100%｝/81% /
Ⅱ郡-61	46,067 [2.07%]	47,373 [2.13%]	8,629 [0.39%]	114,979 [5.16%]	〈 40%〉	〈 41%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(44,832 [2.01%])	(27,302 [1.23%])	(4,708 [0.21%])	(84,095 [3.78%])	｛ 53%｝/97% /	｛ 32%｝/58% /	｛ 6%｝/55% /	｛100%｝/73% /
Ⅲ郡-49	55,857 [2.95%]	48,283 [2.55%]	7,907 [0.42%]	125,599 [6.63%]	〈 44%〉	〈 38%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(54,335 [2.87%])	(25,261 [1.33%])	(4,714 [0.25%])	(92,583 [4.89%])	｛ 59%｝/97% /	｛ 27%｝/52% /	｛ 5%｝/60% /	｛100%｝/74% /
Ⅲ郡-61	37,752 [1.70%]	38,237 [1.72%]	9,524 [0.43%]	95,915 [4.31%]	〈 39%〉	〈 40%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(35,121 [1.58%])	(19,817 [0.89%])	(5,375 [0.24%])	(65,411 [2.94%])	｛ 54%｝/93% /	｛ 30%｝/52% /	｛ 8%｝/56% /	｛100%｝/68% /
Ⅳ郡-49	39,822 [2.10%]	55,104 [2.91%]	3,663 [0.19%]	110,518 [5.83%]	〈 36%〉	〈 49%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(38,494 [2.03%])	(38,747 [2.05%])	(2,216 [0.12%])	(86,877 [4.59%])	｛ 44%｝/97% /	｛ 45%｝/70% /	｛ 3%｝/60% /	｛100%｝/79% /
Ⅳ郡-61	35,939 [1.61%]	65,133 [2.92%]	7,461 [0.34%]	121,112 [5.44%]	〈 30%〉	〈 54%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(34,657 [1.56%])	(44,978 [2.02%])	(4,351 [0.20%])	(90,771 [4.08%])	｛ 38%｝/96% /	｛ 50%｝/69% /	｛ 5%｝/58% /	｛100%｝/75% /
D県-49	189,267 [9.99%]	208,567 [11.01%]	26,605 [1.40%]	509,655 [26.90%]	〈 37%〉	〈 41%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(183,826 [9.70%])	(106,763 [5.64%])	(11,797 [0.62%])	(332,940 [17.57%])	｛ 55%｝/97% /	｛ 32%｝/51% /	｛ 4%｝/44% /	｛100%｝/65% /
D県-61	167,397 [7.52%]	267,456 [12.02%]	52,953 [2.38%]	583,213 [26.21%]	〈 29%〉	〈 46%〉	〈 9%〉	〈100%〉
	(159,394 [7.16%])	(143,251 [6.44%])	(20,635 [0.93%])	(352,418 [15.84%])	｛ 45%｝/95% /	｛ 41%｝/54% /	｛ 6%｝/39% /	｛100%｝/60% /
Ⅰ郡-49	45,904 [2.42%]	80,875 [4.27%]	16,829 [0.89%]	176,304 [9.31%]	〈 26%〉	〈 46%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(44,008 [2.32%])	(34,903 [1.84%])	(3,993 [0.21%])	(90,403 [4.77%])	｛ 49%｝/96% /	｛ 39%｝/43% /	｛ 4%｝/24% /	｛100%｝/51% /
Ⅰ郡-61	36,055 [1.62%]	94,412 [4.24%]	36,953 [1.66%]	202,002 [9.08%]	〈 18%〉	〈 47%〉	〈 18%〉	〈100%〉
	(34,177 [1.54%])	(47,898 [2.15%])	(7,755 [0.35%])	(102,212 [4.59%])	｛ 33%｝/95% /	｛ 47%｝/51% /	｛ 11%｝/21% /	｛100%｝/51% /
Ⅱ郡-49	33,529 [1.77%]	41,233 [2.18%]	2,848 [0.15%]	87,989 [4.64%]	〈 38%〉	〈 47%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(32,682 [1.73%])	(17,177 [0.91%])	(1,084 [0.06%])	(55,322 [2.92%])	｛ 59%｝/97% /	｛ 31%｝/42% /	｛ 2%｝/38% /	｛100%｝/63% /
Ⅱ郡-61	40,087 [1.80%]	42,630 [1.92%]	6,557 [0.29%]	101,148 [4.55%]	〈 40%〉	〈 42%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(36,673 [1.65%])	(22,091 [0.99%])	(3,279 [0.15%])	(68,382 [3.07%])	｛ 54%｝/91% /	｛ 32%｝/52% /	｛ 4%｝/50% /	｛100%｝/68% /
Ⅲ郡-49	45,306 [2.39%]	30,310 [1.60%]	2,986 [0.16%]	89,209 [4.71%]	〈 51%〉	〈 34%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(40,371 [2.13%])	(12,359 [0.65%])	(1,117 [0.06%])	(59,682 [3.15%])	｛ 68%｝/89% /	｛ 21%｝/41% /	｛ 2%｝/37% /	｛100%｝/67% /
Ⅲ郡-61	33,200 [1.49%]	54,575 [2.45%]	5,153 [0.23%]	101,928 [4.58%]	〈 33%〉	〈 55%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(31,911 [1.43%])	(27,488 [1.24%])	(2,449 [0.11%])	(66,134 [2.97%])	｛ 48%｝/96% /	｛ 42%｝/50% /	｛ 4%｝/48% /	｛100%｝/65% /
Ⅳ郡-49	30,601 [1.62%]	36,940 [1.95%]	2,623 [0.14%]	77,901 [4.11%]	〈 39%〉	〈 47%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(30,062 [1.59%])	(13,185 [0.70%])	(1,039 [0.05%])	(48,075 [2.54%])	｛ 63%｝/98% /	｛ 27%｝/36% /	｛ 2%｝/40% /	｛100%｝/62% /
Ⅳ郡-61	34,095 [1.53%]	52,002 [2.34%]	5,442 [0.24%]	101,216 [4.55%]	〈 34%〉	〈 51%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(33,269 [1.50%])	(21,532 [0.97%])	(2,341 [0.11%])	(61,344 [2.76%])	｛ 54%｝/98% /	｛ 35%｝/41% /	｛ 8%｝/43% /	｛100%｝/61% /
L県-49	153,018 [8.08%]	188,748 [9.96%]	25,145 [1.33%]	428,532 [22.62%]	〈 36%〉	〈 44%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(147,123 [7.77%])	(77,624 [4.10%])	(7,233 [0.38%])	(253,482 [13.38%])	｛ 58%｝/96% /	｛ 31%｝/41% /	｛ 3%｝/29% /	｛100%｝/59.2% /
L県-61	143,437 [6.45%]	243,619 [10.95%]	54,105 [2.43%]	506,294 [22.75%]	〈 28%〉	〈 48%〉	〈 11%〉	〈100%〉
	(136,030 [6.13%])	(119,009 [5.35%])	(19,434 [0.87%])	(298,072 [13.40%])	｛ 46%｝/95% /	｛ 40%｝/49% /	｛ 7%｝/35.9% /	｛100%｝/58.8% /
Ⅰ郡-49	38,770 [2.05%]	118,226 [6.24%]	5,589 [0.30%]	176,573 [9.32%]	〈 22%〉	〈 67%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(37,875 [2.00%])	(68,820 [3.63%])	(1,987 [0.10%])	(114,641 [6.05%])	｛ 33%｝/98% /	｛ 60%｝/58% /	｛ 2%｝/36% /	｛100%｝/65% /
Ⅰ郡-61	30,919 [1.39%]	153,345 [6.89%]	12,453 [0.56%]	212,186 [9.55%]	〈 15%〉	〈 72%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(29,902 [1.34%])	(97,986 [4.40%])	(4,665 [0.21%])	(138,640 [6.23%])	｛ 22%｝/97% /	｛ 71%｝/64% /	｛ 3%｝/37% /	｛100%｝/65% /
Ⅱ郡-49	42,769 [2.26%]	94,358 [4.98%]	9,253 [0.49%]	160,325 [8.46%]	〈 27%〉	〈 59%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(40,891 [2.16%])	(48,892 [2.58%])	(5,813 [0.31%])	(100,512 [5.31%])	｛ 41%｝/96% /	｛ 49%｝/52% /	｛ 6%｝/63% /	｛100%｝/63% /
Ⅱ郡-61	38,482 [1.73%]	119,592 [5.37%]	15,583 [0.70%]	188,380 [8.47%]	〈 20%〉	〈 63%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(36,285 [1.63%])	(64,583 [2.90%])	(7,939 [0.36%])	(114,139 [5.13%])	｛ 32%｝/94% /	｛ 57%｝/54% /	｛ 7%｝/51% /	｛100%｝/61% /

Ⅲ郡-49	29,228 [1.54%]	73,426 [3.88%]	5,208 [0.27%]	116,502 [6.15%]	〈 25%〉	〈 63%〉	〈 4%〉	〈100%〉
	(26,829 [1.42%])	(37,438 [1.98%])	(2,330 [0.12%])	(70,191 [3.71%])	｛ 38%｝/92% /	｛ 53%｝/51% /	｛ 3%｝/45% /	｛100%｝/60% /
Ⅲ郡-61	27,322 [1.23%]	86,678 [3.90%]	7,136 [0.32%]	129,562 [5.82%]	〈 21%〉	〈 67%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(23,680 [1.06%])	(48,555 [2.18%])	(3,423 [0.15%])	(79,101 [3.55%])	｛ 30%｝/87% /	｛ 61%｝/56% /	｛ 4%｝/48% /	｛100%｝/61% /
Ⅳ郡-49	49,589 [2.62%]	87,574 [4.62%]	5,260 [0.28%]	154,582 [8.16%]	〈 32%〉	〈 57%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(48,041 [2.54%])	(37,788 [1.99%])	(2,232 [0.12%])	(93,568 [4.94%])	｛ 51%｝/97% /	｛ 40%｝/43% /	｛ 2%｝/42% /	｛100%｝/61% /
Ⅳ郡-61	43,768 [1.97%]	118,751 [5.34%]	9,126 [0.41%]	184,364 [8.29%]	〈 24%〉	〈 64%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(41,897 [1.88%])	(58,092 [2.61%])	(4,316 [0.19%])	(110,074 [4.95%])	｛ 38%｝/96% /	｛ 53%｝/49% /	｛ 4%｝/47% /	｛100%｝/60% /
協定-49	15,656 [0.83%]	61,810 [3.26%]	2,701 [0.14%]	86,286 [4.55%]	〈 18%〉	〈 72%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(14,862 [0.78%])	(27,235 [1.44%])	(933 [0.05%])	(45,038 [2.38%])	｛ 33%｝/95% /	｛ 60%｝/44% /	｛ 2%｝/35% /	｛100%｝/52% /
協定-61	15,123 [0.68%]	84,596 [3.80%]	5,907 [0.27%]	112,753 [5.07%]	〈 13%〉	〈 75%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(14,043 [0.63%])	(36,844 [1.66%])	(2,064 [0.09%])	(55,201 [2.48%])	｛ 25%｝/93% /	｛ 67%｝/44% /	｛ 4%｝/35% /	｛100%｝/49% /
Z県-49	176,012 [9.29%]	435,394 [22.98%]	28,210 [1.49%]	694,268 [36.65%]	〈 25%〉	〈 63%〉	〈 4%〉	〈100%〉
	(168,498 [8.89%])	(220,173 [11.62%])	(13,313 [0.70%])	(423,950 [22.38%])	｛ 40%｝/96% /	｛ 52%｝/51% /	｛ 3%｝/47% /	｛100%｝/61% /
Z県-61	155,614 [6.99%]	562,862 [25.29%]	50,205 [2.26%]	827,245 [37.18%]	〈 19%〉	〈 68%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(145,807 [6.55%])	(306,060 [13.75%])	(22,407 [1.01%])	(497,155 [22.34%])	｛ 29%｝/94% /	｛ 61.6%｝/54% /	｛ 5%｝/45% /	｛100%｝/60% /
Ⅰ郡-49	48,949 [2.58%]	47,184 [2.49%]	2,727 [0.14%]	110,677 [5.84%]	〈 44%〉	〈 43%〉	〈 2%〉	〈100%〉
	(48,243 [2.55%])	(31,774 [1.68%])	(1,322 [0.07%])	(87,566 [4.62%])	｛ 55%｝/99% /	｛ 36%｝/67% /	｛ 2%｝/48% /	｛100%｝/79% /
Ⅰ郡-61	56,513 [2.54%]	73,899 [3.32%]	6,947 [0.31%]	151,381 [6.80%]	〈 37%〉	〈 49%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(55,334 [2.49%])	(55,385 [2.49%])	(4,011 [0.18%])	(122,792 [5.52%])	｛ 45%｝/98% /	｛ 45%｝/75% /	｛ 3%｝/58% /	｛100%｝/81% /
Ⅱ郡-49	43,568 [2.30%]	92,556 [4.89%]	4,942 [0.26%]	151,299 [7.99%]	〈 29%〉	〈 61%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(42,030 [2.22%])	(82,007 [4.33%])	(3,117 [0.16%])	(133,453 [7.04%])	｛ 31%｝/96% /	｛ 61%｝/89% /	｛ 2%｝/63% /	｛100%｝/88% /
Ⅱ郡-61	36,052 [1.62%]	100,741 [4.53%]	8,736 [0.39%]	157,107 [7.06%]	〈 23%〉	〈 64%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(34,357 [1.54%])	(88,486 [3.98%])	(5,334 [0.24%])	(135,182 [6.07%])	｛ 25%｝/95% /	｛ 65%｝/88% /	｛ 4%｝/61% /	｛100%｝/86% /
B県-49	92,517 [4.88%]	139,740 [7.38%]	7,660 [0.40%]	261,976 [13.83%]	〈 35%〉	〈 53%〉	〈 3%〉	〈100%〉
	(90,273 [4.77%])	(113,781 [6.01%])	(4,439 [0.23%])	(221,019 [11.67%])	｛ 41%｝/98% /	｛ 51%｝/81% /	｛ 2%｝/58% /	｛100%｝/84.3% /
B県-61	92,565 [4.16%]	174,640 [7.85%]	15,683 [0.70%]	308,488 [13.86%]	〈 30%〉	〈 57%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(89,691 [4.03%])	(143,871 [6.47%])	(9,345 [0.42%])	(257,974 [11.59%])	｛ 35%｝/97% /	｛ 56%｝/82% /	｛ 4%｝/60% /	｛100%｝/83.6% /
王国-49	610,814 [32.24%]	972,449 [51.33%]	87,620 [4.63%]	1,894,431 [100%]	〈 32%〉	〈 51%〉	〈 5%〉	〈100%〉
	(589,710 [31.13%])	(518,341 [27.36%])	(36,782 [1.94%])	(1,231,391 [65.00%])	｛ 48%｝/97% /	｛ 42%｝/53% /	｛ 3%｝/42.0% /	｛100%｝/65% /
王国-61	559,013 [25.12%]	1,248,767 [56.12%]	172,946 [7.77%]	2,225,240 [100%]	〈 25%〉	〈 56%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(530,922 [23.86%])	(712,191 [32.01%])	(71,821 [3.22%])	(1,405,619 [63.17%])	｛ 38%｝/95.0% /	｛ 51%｝/57.0% /	｛ 5%｝/41.5% /	｛100%｝/63% /

そのために，49年と61年の郡については比率のみを比較する（71年の協定所領に関しては上記）．

71年以後で見ると，全26郡中25郡で人口計は増加し続けた．Fre郡だけは例外的に07年に減少した．しかし，同郡の07年の人口は82年よりも大きかった．

71年以後，農業人口は全郡で，82年の増加を除いて，減少し続けた．例外としてLeip郡とChe郡だけは，農業人口が95年にも増加したけれども，07年には95年よりも小さくなった．しかし，82年の増加に影響されて，07年の農業人口は全郡で71年よりも大きかった．農業人口の構成比が５割を超える郡は，49年に２郡（D県Ⅱ郡とL県Ⅱ郡）あったけれども，61年以後にはゼロとなった．農業人口比率は全郡で，82年の上昇（Dre郡で同率）を除いて，低下し続けた．07年の同比率が71年よりも高い郡は，計５郡（Dip郡，Fre郡，Osc郡，Löb郡とZit郡．全26郡の19％）のみであった．農業人口比率が最も高い郡は，49年に54％のD県Ⅱ郡，61年に40％の２郡（D県Ⅱ郡とL県Ⅱ郡），71年に32％の３郡（Dip郡，Gron郡とGri郡）であった．71年以後に同比率が最も高い郡は，82年のDip郡（45％）であり，07年に最も高い郡はDip郡（34％）であった．

第10（2-1）表　郡の産業別人口（ドレースデン県）（1871 － 1907年）

郡	農業	工業	商業	計	農業	工業	商業	計
Dip-71	16,071 [0.63%]	20,384 [0.80%]	3,395 [0.13%]	49,644 [1.94%]	〈 32%〉	〈 41%〉	〈 6.8%〉	〈100%〉
	(15,405 [0.60%])	(13,384 [0.52%])	(2,255 [0.09%])	(38,502 [1.51%])	｛ 40%｝/96% /	｛ 35%｝/66% /	｛ 6%｝/66% /	｛100%｝/78% /
Dip-82	23,430 [0.78%]	20,326 [0.67%]	3,434 [0.11%]	51,681 [1.71%]	〈 45%〉	〈 39%〉	〈 6.7%〉	〈100%〉
Dip-95	21,380 [0.57%]	21,127 [0.56%]	4,990 [0.13%]	53,128 [1.42%]	〈 40%〉	〈 40%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Dip-07	19,315 [0.42%]	25,129 [0.55%]	5,715 [0.12%]	57,565 [1.26%]	〈 34%〉	〈 44%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Dre-71	23,191 [0.91%]	114,414 [4.48%]	45,749 [1.79%]	286,999 [11.23%]	〈 8.08%〉	〈 40%〉	〈 16%〉	〈100%〉
	(20,974 [0.82%])	(44,396 [1.74%])	(9,127 [0.36%])	(101,576 [3.97%])	｛ 21%｝/90% /	｛ 44%｝/39% /	｛ 9%｝/20% /	｛100%｝/35% /
Dre-82	31,421 [1.04%]	194,341 [6.45%]	73,977 [2.45%]	387,516 [12.85%]	〈 8.11%〉	〈 50%〉	〈19.1%〉	〈100%〉
Dre-95	30,745 [0.82%]	305,533 [8.14%]	110,387 [2.94%]	567,798 [15.13%]	〈 5%〉	〈 54%〉	〈19.4%〉	〈100%〉
Dre-07	28,254 [0.62%]	397,270 [8.66%]	159,982 [3.49%]	745,745 [16.26%]	〈 4%〉	〈 52%〉	〈 21%〉	〈100%〉
Fre-71	18,098 [0.71%]	54,931 [2.15%]	7,043 [0.28%]	100,878 [3.95%]	〈 18%〉	〈 54%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(17,658 [0.69%])	(40,171 [1.57%])	(3,707 [0.15%])	(75,077 [2.94%])	｛ 24%｝/98% /	｛ 54%｝/73% /	｛ 5%｝/53% /	｛100%｝/74% /
Fre-82	27,420 [0.91%]	61,354 [2.04%]	8,415 [0.28%]	110,594 [3.67%]	〈 25%〉	〈 55%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Fre-95	25,424 [0.68%]	67,168 [1.79%]	10,780 [0.29%]	118,282 [3.15%]	〈 21%〉	〈 57%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Fre-07	21,847 [0.48%]	63,701 [1.39%]	12,358 [0.27%]	116,036 [2.53%]	〈 19%〉	〈 55%〉	〈 11%〉	〈100%〉
Gron-71	19,431 [0.76%]	19,905 [0.78%]	5,850 [0.23%]	60,398 [2.36%]	〈 32%〉	〈 33%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(18,693 [0.73%])	(10,255 [0.40%])	(2,859 [0.11%])	(42,069 [1.65%])	｛ 44%｝/96% /	｛ 24%｝/52% /	｛ 7%｝/49% /	｛100%｝/70% /
Gron-82	25,846 [0.86%]	25,126 [0.83%]	6,837 [0.23%]	64,945 [2.15%]	〈 40%〉	〈38.6%〉	〈 11%〉	〈100%〉
Gron-95	24,958 [0.66%]	30,346 [0.81%]	10,821 [0.29%]	76,845 [2.05%]	〈 32%〉	〈39.5%〉	〈14.1%〉	〈100%〉
Gron-07	23,897 [0.52%]	36,993 [0.81%]	12,637 [0.28%]	92,812 [2.02%]	〈 26%〉	〈40.0%〉	〈13.6%〉	〈100%〉
Mei-71	23,628 [0.92%]	29,739 [1.16%]	6,713 [0.26%]	83,170 [3.25%]	〈 28%〉	〈 36%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(23,004 [0.90%])	(18,318 [0.72%])	(3,853 [0.15%])	(61,560 [2.41%])	｛ 37%｝/97% /	｛ 30%｝/62% /	｛ 6%｝/57% /	｛100%｝/74% /
Mei-82	32,475 [1.08%]	41,220 [1.36%]	8,047 [0.27%]	92,721 [3.08%]	〈 35%〉	〈 44%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Mei-95	30,253 [0.81%]	54,899 [1.46%]	11,037 [0.29%]	109,416 [2.93%]	〈 28%〉	〈 50%〉	〈10.1%〉	〈100%〉
Mei-07	27,531 [0.60%]	70,284 [1.53%]	13,374 [0.29%]	128,863 [2.81%]	〈 21%〉	〈 55%〉	〈10.4%〉	〈100%〉
Pir-71	22,716 [0.89%]	36,001 [1.41%]	10,956 [0.43%]	95,496 [3.74%]	〈 24%〉	〈 38%〉	〈 11%〉	〈100%〉
	(21,505 [0.84%])	(18,996 [0.74%])	(6,025 [0.24%])	(63,424 [2.48%])	｛ 34%｝/95% /	｛ 30%｝/53% /	｛ 9%｝/55% /	｛100%｝/66% /
Pir-82	33,412 [1.11%]	51,479 [1.71%]	13,266 [0.44%]	110,906 [3.68%]	〈 30%〉	〈 46%〉	〈 12%〉	〈100%〉
Pir-95	29,785 [0.79%]	66,424 [1.77%]	17,702 [0.47%]	131,263 [3.50%]	〈 23%〉	〈 51%〉	〈 13%〉	〈100%〉
Pir-07	26,877 [0.59%]	88,889 [1.94%]	21,770 [0.47%]	160,745 [3.51%]	〈 17%〉	〈 55%〉	〈 14%〉	〈100%〉
D県-71	123,135 [4.83%]	275,374 [10.77%]	79,706 [3.12%]	676,584 [26.47%]	〈 18%〉	〈 41%〉	〈 12%〉	〈100%〉
	(117,248 [4.59%])	(145,520 [5.69%])	(27,825 [1.09%])	(382,208 [14.95%])	｛ 31%｝/95% /	｛ 38%｝/53% /	｛ 7%｝/35% /	｛100%｝/56% /
D県-82	174,188 [5.78%]	393,662 [13.06%]	113,976 [3.78%]	818,363 [27.14%]	〈 21%〉	〈 48%〉	〈 14%〉	〈100%〉
D県-95	162,545 [4.33%]	545,497 [14.53%]	165,717 [4.42%]	1,056,732 [28.16%]	〈 15%〉	〈 51.6%〉	〈 16%〉	〈100%〉
D県-07	147,721 [3.22%]	682,266 [14.88%]	225,832 [4.92%]	1,301,766 [28.39%]	〈 11%〉	〈 52.4%〉	〈 17%〉	〈100%〉

農業人口比率が最も低い郡は，協定所領（49年に18％，61年に13％）で，71年にLeip郡とChe郡（ともに７％）であった．07年に農業人口比率は，Dre郡とChe郡で極めて低く，４％であり，Leip郡ではさらに低く，僅か３％であった．07年に同比率は，上記３郡以外に，Z県の５郡で７－９％，計10郡（D県，L県とB県のそれぞれ２郡，および，Z県の４郡）で10－20％，残りの８郡（D県とL県のそれぞれ２郡，および，B県の２郡）で21－34％であった．21％以上のこの８郡が，07年に農業的色彩の濃い郡であった．

第10（2-2）表　郡の産業別人口（ライプツィヒ県　1871－1907年）

郡	農業	工業	商業	計	農業	工業	商業	計
Bor-71	17,782 [0.70%]	23,451 [0.92%]	5,006 [0.20%]	65,945 [2.58%]	〈 27%〉	〈 36%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(16,507 [0.65%])	(8,445 [0.33%])	(2,031 [0.08%])	(37,932 [1.48%])	｛44%｝/93% /	｛22%｝/36% /	｛ 5%｝/41% /	｛100%｝/58% /
Bor-82	27,752 [0.92%]	28,988 [0.96%]	5,967 [0.17%]	70,187 [2.33%]	〈 40%〉	〈 41%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Bor-95	24,648 [0.66%]	33,199 [0.88%]	7,534 [0.20%]	74,634 [1.99%]	〈 33%〉	〈 44%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Bor-07	19,983 [0.44%]	41,387 [0.90%]	7,524 [0.16%]	79,764 [1.74%]	〈 25%〉	〈 52%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Dob-71	19,367 [0.76%]	45,369 [1.77%]	7,293 [0.29%]	94,530 [3.70%]	〈 20%〉	〈 48%〉	〈 7.7%〉	〈100%〉
	(18,723 [0.73%])	(18,016 [0.70%])	(3,077 [0.12%])	(53,056 [2.08%])	｛35%｝/97% /	｛34%｝/40% /	｛ 6%｝/42% /	｛100%｝/56% /
Dob-82	28,493 [0.95%]	49,432 [1.64%]	8,087 [0.27%]	98,225 [3.26%]	〈 29%〉	〈 50%〉	〈 8.2%〉	〈100%〉
Dob-95	26,800 [0.71%]	57,938 [1.54%]	11,074 [0.30%]	112,466 [3.00%]	〈 24%〉	〈 52%〉	〈 9.8%〉	〈100%〉
Dob-07	23,091 [0.50%]	65,606 [1.43%]	12,465 [0.27%]	120,629 [2.63%]	〈 19%〉	〈 54%〉	〈10.3%〉	〈100%〉
Gri-71	24,003 [0.94%]	24,483 [0.96%]	5,209 [0.20%]	75,570 [2.96%]	〈 32%〉	〈 32%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(22,702 [0.89%])	(12,106 [0.47%])	(2,369 [0.09%])	(49,938 [1.95%])	｛45%｝/95% /	｛24%｝/49% /	｛ 5%｝/45% /	｛100%｝/66% /
Gri-82	30,426 [1.01%]	34,511 [1.14%]	6,449 [0.21%]	81,800 [2.71%]	〈 37%〉	〈 42%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Gri-95	28,299 [0.75%]	44,614 [1.19%]	9,090 [0.24%]	96,562 [2.57%]	〈 29%〉	〈 46%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Gri-07	24,854 [0.54%]	53,621 [1.17%]	10,199 [0.22%]	106,809 [2.33%]	〈 23%〉	〈 50%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Leip-71	14,592 [0.57%]	85,894 [3.36%]	48,292 [1.89%]	216,501 [8.47%]	〈 6.7%〉	〈 40%〉	〈 22%〉	〈100%〉
	b(13,590[0.53%])	b(39,603[1.55%])	b(14,357[0.56%])	b(101,928[3.99%])	｛13%｝/93% /	｛39%｝/46% /	｛14%｝/30% /	｛100%｝/47% /
Leip-82	22,613 [0.74%]	168,052 [5.57%]	80,446 [2.67%]	325,746 [10.80%]	〈 6.9%〉	〈 52%〉	〈24.7%〉	〈100%〉
Leip-95	23,249 [0.62%]	262,404 [6.99%]	122,103 [3.25%]	485,794 [12.94%]	〈 5%〉	〈 54%〉	〈25.1%〉	〈100%〉
Leip-07	19,579 [0.43%]	371,560 [8.10%]	174,237 [3.80%]	678,081 [14.79%]	〈 3%〉	〈 55%〉	〈 26%〉	〈100%〉
Osc-71	15,234 [0.60%]	15,763 [0.62%]	3,883 [0.15%]	51,892 [2.03%]	〈 29%〉	〈 30%〉	〈 7.5%〉	〈100%〉
	(14,434 [0.56%])	(8,934 [0.35%])	(2,288 [0.09%])	(37,547 [1.47%])	｛38%｝/95% /	｛24%｝/57% /	｛ 6%｝/59% /	｛100%｝/72% /
Osc-82	21,809 [0.72%]	19,088 [0.63%]	3,788 [0.12%]	53,018 [1.76%]	〈 41%〉	〈 36%〉	〈 7.1%〉	〈100%〉
Osc-95	20,124 [0.54%]	21,515 [0.57%]	5,638 [0.15%]	56,492 [1.51%]	〈 36%〉	〈 38%〉	〈10.0%〉	〈100%〉
Osc-07	17,547 [0.38%]	24,147 [0.53%]	5,864 [0.13%]	57,949 [1.26%]	〈 30%〉	〈 42%〉	〈10.1%〉	〈100%〉
Roc-71	18,692 [0.73%]	47,099 [1.84%]	5,715 [0.22%]	86,777 [3.39%]	〈 22%〉	〈 54%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(18,021 [0.70%])	(25,945 [1.01%])	(2,846 [0.11%])	(56,528 [2.21%])	｛32%｝/96% /	｛46%｝/55% /	｛ 5%｝/50% /	｛100%｝/65% /
Roc-82	25,560 [0.85%]	52,977 [1.76%]	7,291 [0.24%]	93,488 [3.10%]	〈 27%〉	〈 57%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Roc-95	23,941 [0.64%]	61,296 [1.63%]	10,451 [0.28%]	105,855 [2.82%]	〈 23%〉	〈 58%〉	〈 9.9%〉	〈100%〉
Roc-07	20,235 [0.44%]	74,544 [1.63%]	11,586 [0.25%]	119,967 [2.62%]	〈 17%〉	〈 62%〉	〈 9.7%〉	〈100%〉
L県-71	109,670 [4.29%]	242,059 [9.47%]	75,398 [2.95%]	591,215 [23.13%]	〈 19%〉	〈 41%〉	〈 13%〉	〈100%〉
	(103,977[4.07%])	(113,049[4.42%])	(26,969 [1.06%])	(336,924 [13.18%])	｛31%｝/95% /	｛34%｝/47% /	｛ 8%｝/35.8% /	｛100%｝/57% /
L県-82	156,160 [5.18%]	353,541 [11.73%]	112,028 [3.72%]	722,464 [23.96%]	〈 22%〉	〈 49%〉	〈 16%〉	〈100%〉
L県-95	147,061 [3.92%]	480,966 [12.81%]	165,890 [4.42%]	931,816 [24.83%]	〈 16%〉	〈 52%〉	〈 18%〉	〈100%〉
L県-07	125,289 [2.73%]	630,865 [13.76%]	221,875 [4.84%]	1,163,198 [25.37%]	〈 11%〉	〈 54%〉	〈 19%〉	〈100%〉

71年以後に工業人口は23郡で増加し続けた．例外は計３郡であり，Dip郡とLöb郡の工業人口が82年に，Fre郡が07年に，減少した．しかし，07年のこれら３郡の工業人口は71年よりも大きかった．工業人口比率は計13郡（D県の３郡，L県全６郡，Z県のAue郡とSchw郡，B県のBau郡とKam郡．全郡の５割）で，上昇し続けた（71年と82年のSchw郡は同率）．残りの13郡の中に，同比率が連続して低下する郡はなかった．この期間に比率の上昇と低下を示した13郡について，71年と07年だけで見ると，07年の同比率が71年よりも高い郡は，D県の残りの３郡（Dip郡，Dre郡とFre郡）およびZ県の３郡（Che郡，Pla郡とZwi郡）であった．Z県の他の５郡とB県の他の２郡，計７郡（全26郡の27％）は71年よりも低かった．したがって，07年の同比率が71年よりも高い郡は，計19郡（全郡の73％）であり，ここでは工業が発展した．工業人口比率が最も高い郡は，協定所領（49年に72％，61年に75％），71年にChe郡とGla郡（ともに72％），07年にAue郡とSchw郡（ともに74％）であった．工業人口比率は，49年に計４郡（Z県の３郡と，レーバウ市とツィタ

第10（2-3）表　郡の産業別人口（ツヴィカウ県）（1871－1907年）

郡	農業	工業	商業	計	農業	工業	商業	計
Ann-71	8,946 [0.35%]	51,217 [2.00%]	6,277 [0.25%]	78,905 [3.09%]	〈 11%〉	〈 65%〉	〈 8.0%〉	〈100%〉
	(7,186 [0.28%])	(24,415 [0.96%])	(2,263 [0.09%])	(40,158 [1.57%])	｛18%｝/80% /	｛61%｝/48% /	｛ 6%｝/36% /	｛100%｝/51% /
Ann-82	14,985 [0.50%]	61,937 [2.05%]	7,075 [0.23%]	90,242 [2.99%]	〈 17%〉	〈 69%〉	〈 7.8%〉	〈100%〉
Ann-95	14,252 [0.38%]	67,951 [1.81%]	10,888 [0.29%]	100,922 [2.69%]	〈 14%〉	〈 67%〉	〈10.8%〉	〈100%〉
Ann-07	11,580 [0.25%]	74,329 [1.62%]	12,180 [0.27%]	108,167 [2.36%]	〈 11%〉	〈 69%〉	〈11.3%〉	〈100%〉
Aue-71	8,211 [0.32%]	44,128 [1.73%]	4,334 [0.17%]	64,746 [2.53%]	〈 13%〉	〈 68%〉	〈 6.7%〉	〈100%〉
	(7,839 [0.31%])	(28,574 [1.12%])	(2,659 [0.10%])	(44,978 [1.76%])	｛17%｝/95% /	｛64%｝/65% /	｛ 6%｝/61% /	｛100%｝/69% /
Aue-82	13,137 [0.44%]	50,467 [1.67%]	5,426 [0.18%]	73,353 [2.43%]	〈 18%〉	〈 69%〉	〈 7.4%〉	〈100%〉
Aue-95	12,103 [0.32%]	61,283 [1.63%]	8,375 [0.22%]	88,047 [2.35%]	〈 14%〉	〈 70%〉	〈 9.5%〉	〈100%〉
Aue-07	9,387 [0.20%]	88,441 [1.93%]	11,498 [0.25%]	119,395 [2.60%]	〈 8%〉	〈 74%〉	〈 9.6%〉	〈100%〉
Che-71	14,388 [0.56%]	138,916 [5.43%]	19,282 [0.75%]	194,006 [7.59%]	〈 7%〉	〈71.6%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(13,864 [0.54%])	(87,004 [3.40%])	(6,251 [0.24%])	(116,891 [4.57%])	｛12%｝/96% /	｛74%｝/63% /	｛ 5%｝/32% /	｛100%｝/60% /
Che-82	20,430 [0.68%]	180,096 [5.97%]	29,761 [0.99%]	249,866 [8.29%]	〈 8%〉	〈72.1%〉	〈 12%〉	〈100%〉
Che-95	20,613 [0.55%]	242,557 [6.46%]	47,026 [1.25%]	342,889 [9.14%]	〈 6%〉	〈 71%〉	〈 14%〉	〈100%〉
Che-07	17,030 [0.37%]	317,173 [6.92%]	67,587 [1.47%]	454,500 [9.91%]	〈 4%〉	〈 70%〉	〈 15%〉	〈100%〉
Flo-71	10,595 [0.41%]	43,130 [1.69%]	5,581 [0.22%]	70,589 [2.76%]	〈 15%〉	〈 61%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(10,207 [0.40%])	(24,484 [0.96%])	(2,941 [0.12%])	(45,281 [1.77%])	｛23%｝/96% /	｛54%｝/57% /	｛ 6%｝/53% /	｛100%｝/64% /
Flo-82	14,775 [0.49%]	48,899 [1.62%]	6,947 [0.23%]	76,498 [2.54%]	〈 19%〉	〈 64%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Flo-95	13,811 [0.37%]	51,488 [1.37%]	9,675 [0.26%]	81,699 [2.18%]	〈 17%〉	〈 63%〉	〈 12%〉	〈100%〉
Flo-07	12,063 [0.26%]	62,413 [1.36%]	11,043 [0.24%]	95,392 [2.08%]	〈 13%〉	〈 65%〉	〈 12%〉	〈100%〉
協定－71	11,578 [0.45%]	94,672 [3.70%]	9,410 [0.37%]	131,328 [5.14%]	〈 9%〉	〈 72%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(10,643 [0.42%])	(41,987 [1.64%])	(2,668 [0.10%])	(62,035 [2.42%])	｛17%｝/92% /	｛68%｝/44% /	｛ 4%｝/28% /	｛100%｝/47% /
Gla-71*	10,189 [0.40%]	83,311 [3.26%]	8,281 [0.32%]	115,110 [4.50%]	〈 9%〉	〈72.4%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(9,259 [0.36%])	(36,529 [1.44%])	(2,321 [0.09%])	(53,755 [2.10%])	｛17%｝/91% /	｛68%｝/44% /	｛ 4%｝/28% /	｛100%｝/47% /
Gla-82	16,040 [0.53%]	89,224 [2.96%]	10,014 [0.33%]	123,617 [4.10%]	〈 13%〉	〈72.2%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Gla-95	15,107 [0.42%]	100,832 [2.69%]	14,080 [0.38%]	141,022 [3.76%]	〈 11%〉	〈71.5%〉	〈10.0%〉	〈100%〉
Gla-07	12,766 [0.28%]	104,936 [2.29%]	15,579 [0.34%]	149,478 [3.26%]	〈 9%〉	〈 70%〉	〈10.4%〉	〈100%〉
Mari-71	9,528 [0.37%]	31,042 [1.21%]	3,506 [0.14%]	52,866 [2.07%]	〈 18%〉	〈58.7%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(8,404 [0.33%])	(23,048 [0.90%])	(2,416 [0.09%])	(39,952 [1.56%])	｛21%｝/88% /	｛58%｝/74% /	｛ 6%｝/69% /	｛100%｝/76% /
Mari-82	14,342 [0.48%]	35,018 [1.16%]	4,804 [0.16%]	58,965 [1.96%]	〈 24%〉	〈59.4%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Mari-95	13,471 [0.36%]	36,673 [0.98%]	5,830 [0.16%]	61,882 [1.65%]	〈 22%〉	〈59.3%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Mari-07	11,378 [0.25%]	40,479 [0.88%]	6,556 [0.14%]	65,641 [1.43%]	〈 17%〉	〈 62%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Oel-71	10,318 [0.40%]	27,343 [1.07%]	3,322 [0.13%]	48,596 [1.90%]	〈 22%〉	〈 56%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(9,858 [0.39%])	(15,800 [0.62%])	(1,713 [0.07%])	(32,904 [1.29%])	｛30%｝/96% /	｛48%｝/58% /	｛ 5%｝/52% /	｛100%｝/68% /
Oel-82	15,240 [0.51%]	28,256 [0.94%]	4,583 [0.15%]	51,721 [1.72%]	〈 29%〉	〈 55%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Oel-95	13,502 [0.36%]	38,084 [1.01%]	6,716 [0.18%]	63,838 [1.70%]	〈 21%〉	〈 60%〉	〈10.5%〉	〈100%〉
Oel-07	11,633 [0.25%]	47,596 [1.04%]	8,381 [0.18%]	76,019 [1.66%]	〈 15%〉	〈 63%〉	〈11.0%〉	〈100%〉
Pla-71	13,503 [0.53%]	54,678 [2.14%]	7,584 [0.30%]	89,539 [3.50%]	〈 15%〉	〈 61%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(12,775 [0.50%])	(14,522 [0.56%])	(2,146 [0.08%])	(35,991 [1.41%])	｛35%｝/95% /	｛40%｝/27% /	｛ 6%｝/28% /	｛100%｝/40% /
Pla-82	18,834 [0.62%]	73,773 [2.45%]	12,232 [0.40%]	111,848 [3.71%]	〈 17%〉	〈 66%〉	〈 11%〉	〈100%〉
Pla-95	17,483 [0.47%]	103,540 [2.76%]	18,333 [0.49%]	150,497 [4.01%]	〈 12%〉	〈 69%〉	〈 12%〉	〈100%〉
Pla-07	15,437 [0.34%]	140,644 [3.07%]	29,182 [0.64%]	207,325 [4.52%]	〈 7%〉	〈 68%〉	〈 14%〉	〈100%〉
Schw-71*	7,081 [0.28%]	56,054 [2.19%]	8,112 [0.32%]	82,463 [3.26%]	〈 9%〉	〈67.97%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(5,896 [0.23%])	(32,800 [1.28%])	(4,510 [0.18%])	(48,264 [1.89%])	｛12%｝/83% /	｛68%｝/59% /	｛ 9%｝/56% /	｛100%｝/60% /
Schw-82	13,718 [0.46%]	63,158 [2.09%]	8,684 [0.29%]	92,891 [3.08%]	〈 15%〉	〈67.99%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Schw-95	13,019 [0.35%]	75,902 [2.02%]	10,747 [0.29%]	107,962 [2.88%]	〈 12%〉	〈 70%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Schw-07	10,104 [0.22%]	100,517 [2.19%]	12,937 [0.28%]	136,669 [2.98%]	〈 7%〉	〈 74%〉	〈 9%〉	〈100%〉

Zwi-71*	20,762 [0.81%]	100,964 [3.95%]	14,442 [0.56%]	159,064 [6.22%]	〈13.05%〉	〈 63%〉	〈 9%〉	〈100%〉
	(19,920 [0.78%])	(57,159 [2.24%])	(8,614 [0.34%])	(93,584 [3.66%])	｜21%｜/96% /	｜61%｜/57% /	｜ 9%｜/60% /	｜100%｜/59% /
Zwi-82	25,604 [0.85%]	130,219 [4.32%]	19,929 [0.66%]	195,872 [6.50%]	〈13.07%〉	〈 66%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Zwi-95	24,127 [0.64%]	162,791 [4.34%]	28,431 [0.76%]	242,058 [6.45%]	〈 10%〉	〈 67%〉	〈11.7%〉	〈100%〉
Zwi-07	20,815 [0.45%]	184,657 [4.03%]	33,800 [0.74%]	277,941 [6.06%]	〈 7%〉	〈 66%〉	〈12.2%〉	〈100%〉
Z県−71	113,521 [4.44%]	630,783 [24.68%]	80,721 [3.16%]	975,500 [38.16%]	〈 12%〉	〈 66%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(105,208 [4.12%])	(344,335 [13.47%])	(32,943 [1.29%])	(553,374 [21.65%])	｜19%｜/93% /	｜62.2%｜/55% /	｜ 6%｜/41% /	｜100%｜/57% /
Z県−82	167,105 [5.54%]	761,329 [25.25%]	108,455 [3.60%]	1,125,055 [37.32%]	〈 15%〉	〈67.7%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Z県−95	157,388 [4.19%]	941,101 [25.07%]	160,101 [4.27%]	1,380,816 [36.79%]	〈 11%〉	〈68.2%〉	〈11.6%〉	〈100%〉
Z県−07	132,193 [2.88%]	1,161,185 [25.32%]	208,743 [4.55%]	1,690,527 [36.87%]	〈 8%〉	〈 69%〉	〈12.3%〉	〈100%〉

第10（2-4）表　郡の産業別人口（バウツェン県と王国　1871－1907年）

郡	農業	工業	商業	計	農業	工業	商業	計
Bau-71	25,723 [1.01%]	40,130 [1.57%]	5,798 [0.23%]	93,376 [3.66%]	〈 28%〉	〈 43%〉	〈 6%〉	〈100%〉
	(25,126 [0.98%])	(30,268 [1.18%])	(3,099 [0.12%])	(73,944 [2.89%])	｜34%｜/98% /	｜41%｜/75% /	｜ 4%｜/53% /	｜100%｜/79% /
Bau-82	39,039 [1.29%]	46,192 [1.53%]	6,923 [0.23%]	102,728 [3.41%]	〈 38%〉	〈 45%〉	〈 7%〉	〈100%〉
Bau-95	36,068 [0.96%]	53,786 [1.43%]	9,459 [0.25%]	113,393 [3.02%]	〈 32%〉	〈 47%〉	〈 8%〉	〈100%〉
Bau-07	30,949 [0.67%]	68,501 [1.49%]	11,741 [0.26%]	130,589 [2.85%]	〈 24%〉	〈 52%〉	〈 9%〉	〈100%〉
Kam-71	15,395 [0.60%]	23,785 [0.93%]	3,204 [0.13%]	53,603 [2.10%]	〈 29%〉	〈 44%〉	〈 6.0%〉	〈100%〉
	(12,827 [0.50%])	(16,665 [0.65%])	(1,773 [0.07%])	(41,255 [1.61%])	｜31%｜/83% /	｜40%｜/70% /	｜ 4%｜−55%	｜100%｜−77%
Kam-82	22,633 [0.75%]	27,833 [0.92%]	3,212 [0.11%]	57,689 [1.91%]	〈 39%〉	〈 48%〉	〈 5.6%〉	〈100%〉
Kam-95	21,538 [0.57%]	32,714 [0.87%]	4,185 [0.11%]	64,220 [1.71%]	〈 34%〉	〈 51%〉	〈 6.5%〉	〈100%〉
Kam-07	19,606 [0.43%]	40,280 [0.88%]	5,290 [0.12%]	73,609 [1.61%]	〈 27%〉	〈 55%〉	〈 7.2%〉	〈100%〉
Lob-71	15,709 [0.61%]	55,318 [2.16%]	6,933 [0.27%]	92,674 [3.63%]	〈 17%〉	〈 60%〉	〈7.48%〉	〈100%〉
	(15,278 [0.60%])	(50,179 [1.96%])	(4,875 [0.19%])	(82,757 [3.24%])	｜18%｜−97%	｜61%｜−91%	｜ 6%｜/70% /	｜100%｜/89% /
Lob-82	24,961 [0.83%]	54,628 [1.81%]	6,982 [0.23%]	93,002 [3.08%]	〈 27%〉	〈58.7%〉	〈7.51%〉	〈100%〉
Lob-95	23,624 [0.63%]	58,644 [1.56%]	8,831 [0.24%]	99,671 [2.66%]	〈 24%〉	〈58.8%〉	〈 8.9%〉	〈100%〉
Lob-07	20,179 [0.44%]	62,642 [1.37%]	9,708 [0.21%]	106,057 [2.31%]	〈 19%〉	〈59.1%〉	〈 9.2%〉	〈100%〉
Zit-71	11,300 [0.44%]	57,420 [2.25%]	7,132 [0.28%]	91,292 [3.57%]	〈 12%〉	〈 63%〉	〈 8%〉	〈100%〉
	(10,129 [0.40%])	(48,657 [1.90%])	(3,873 [0.15%])	(71,878 [2.81%])	｜14%｜/90% /	｜68%｜/85% /	｜ 5%｜/54% /	｜100%｜/79% /
Zit-82	18,292 [0.61%]	58,710 [1.95%]	9,099 [0.30%]	95,521 [3.17%]	〈 19%〉	〈61.46%〉	〈 10%〉	〈100%〉
Zit-95	17,075 [0.45%]	65,565 [1.75%]	11,454 [0.31%]	106,614 [2.84%]	〈 16%〉	〈61.50%〉	〈 11%〉	〈100%〉
Zit-07	15,025 [0.33%]	73,558 [1.60%]	14,086 [0.31%]	119,754 [2.61%]	〈 13%〉	〈61.42%〉	〈 12%〉	〈100%〉
B県−71	68,127 [2.67%]	176,653 [6.91%]	23,067 [0.90%]	330,945 [12.95%]	〈 21%〉	〈 53%〉	〈 7%〉	〈100%〉
	(65,559 [2.56%])	(145,769 [5.70%])	(13,620 [0.53%])	(269,834 [10.56%])	｜24%｜/96% /	｜54%｜/83% /	｜ 5%｜/59% /	｜100%｜/82% /
B県−82	104,925 [3.48%]	187,363 [6.21%]	26,216 [0.87%]	348,940 [11.57%]	〈 30%〉	〈 54%〉	〈 8%〉	〈100%〉
B県−95	98,305 [2.62%]	210,709 [5.61%]	33,929 [0.90%]	383,898 [10.22%]	〈 26%〉	〈 55%〉	〈 9%〉	〈100%〉
B県−07	85,759 [1.87%]	244,981 [5.34%]	40,825 [0.89%]	430,009 [9.38%]	〈 20%〉	〈 57%〉	〈 10%〉	〈100%〉
王国−71	414,453 [16.21%]	1,324,869 [51.83%]	258,892 [10.13%]	2,556,244 [100%]	〈 16%〉	〈 52%〉	〈 10%〉	〈100%〉
	(391,992 [15.33%])	(748,673 [29.29%])	(101,356 [3.97%])	(1,542,340 [60.34%])	｜25%｜/94.6% /	｜49%｜/56.5% /	｜ 7%｜/39% /	｜100%｜/60% /
王国−82	602,378 [19.98%]	1,695,895 [56.25%]	360,675 [11.96%]	3,014,822 [100%]	〈 20%〉	〈 56%〉	〈 12%〉	〈100%〉
王国−95	565,299 [15.06%]	2,178,273 [58.04%]	525,637 [14.00%]	3,753,262 [100%]	〈 15%〉	〈 58%〉	〈 14%〉	〈100%〉
王国−07	490,962 [10.71%]	2,719,297 [59.30%]	697,279 [15.21%]	4,585,500 [100%]	〈 11%〉	〈 59%〉	〈 15%〉	〈100%〉

ウ市を含むB県Ⅱ郡）が６割を超えており，５割に近い郡もZ県に２郡あった．61年に同比率は，計９郡（D県Ⅳ郡，B県Ⅱ郡とL県の２郡，それに，Z県全５郡）で５割を超えていた．71年に同比率は，計14郡（Fre郡，Roc郡，Löb郡とZit郡，それに，Z県全10郡）で５割を超えており，Döb郡も５割に近かった．特にZ県の８郡とB県の２郡では６割を超えていた（Z県の残りの２郡も６割に近かった）．07年に同比率は，計８郡（Roc郡とZit郡およびZ県の６郡．全郡の31％）で60－70％で，Z県の残りの４郡（Aue郡，Che郡，Gla郡とSchw郡．全郡の15％）で70－74％であった．その他の11郡（D県の４郡，L県の４郡とB県の３郡．全郡の42％）は50－60％であった．この比率が５割以上の郡と５割に近い郡の合計は，49年に全郡の４割に，61年に６割に，71年に58％に，07年に88％に，当たった．特にZ県諸郡とB県Ⅱ郡（後にZit郡）で工業人口が増加した．工業人口比率が５割以下の郡は，49年に計９郡（D県全４郡，L県全４郡とB県Ⅰ郡），61年に計６郡（D県の３郡，L県の２郡とB県Ⅰ郡），71年に計12郡（D県の５郡，L県の５郡とB県の２郡）あり，07年には３郡（Dip郡，Gron郡とOsc郡）のみであった．そのような郡は，49年に全15郡の６割，61年に４割，71年に全26郡の46％，07年に12％に当たった．工業人口比率が最も低い郡は，49年にD県Ⅱ郡（30％），61年にD県Ⅲ郡（40％），71年にOsc郡（30％），07年にGron郡（40％）であった．

農業人口が工業人口よりも大きい郡は，49年に計４郡（D県Ⅱ郡，D県Ⅲ郡，L県Ⅲ郡とB県Ⅰ郡．全郡の27％）あり，82年に計３郡（Dip郡，Gron郡とOsc郡．全郡の12％）あったが，61年以後には，82年の上記３郡を除いて，ゼロとなった．ただし，71年のGri郡と95年のDip郡は農工同率であった．それに対して，工業人口が農業よりも大きい郡は，49年に計11郡（D県の２郡，L県の３郡とB県Ⅱ郡，それに，Z県全５郡．全郡の73％）で，61年に全郡であった．そのような郡は，71年と95年に25郡，82年に23郡（全郡の88％），07年に全郡であった．ただし，上記のように，82年の計３郡（Dip郡，Gron郡とOsc郡）は農業人口が大きく，71年のGri郡と95年のDip郡は農工同率であった．49年に工業人口は，Z県Ⅰ郡（工業都市ケムニツを含む）で農業人口の３倍であり，協定所領では４倍であった．61年に工業人口は，Z県Ⅱ郡とZ県Ⅲ郡で農業人口の３倍を超え，Z県Ⅰ郡で５倍に近く，協定所領では６倍に近かった．71年に工業人口は，４郡（Dre郡，Aue郡，Zwi郡とZit郡）で農業の約５倍，Leip郡とAnn郡で約６倍，Schw郡と協定所領で約８倍で，Che郡では10倍に近かった．07年を見ると，Ann郡で農業の６倍，Gla郡で８倍，Aue郡，Pla郡とZwi郡で９倍，Schw郡で10倍，Dre郡で13倍であり，Leip郡とChe郡では19倍に達した．

対王国総人口比を見ると，71年以後に人口計の同比率は計４郡（Dre郡，Leip郡，Che郡とPla郡）で上昇し続けた．それに対して，18郡で同比率は低下し続けた．同比率の上昇と低下を示す４郡の中で，07年の比率は，計３郡（Pir郡，Schw郡とZwi郡）で71年よりも低く，Aue郡では71年よりも高かった．したがって，07年の同比率が71年よりも高い郡は，比率が上昇し続けた上記４郡とAue郡，計５郡のみであった．残りの21郡では，07年の同比率が71年よりも低かった．すなわち，３大都市を含む３郡，それに，Pla郡とAue郡，計５郡（全郡の19％），では，人口計の増加が総人口の増加よりも急速であり，残りの21郡（全郡の81％）では人口計の増加が総人口よりも緩慢であった．

人口計の対総人口比が最も高い郡は，49年にD県Ⅰ郡，L県Ⅰ郡とZ県Ⅰ郡（ともに９％）であった．61年にD県Ⅰ郡（11％）であり，Z県Ⅰ郡（10％）とL県Ⅰ郡（９％）が続いた．71年に第１位がDre郡（11％），第２位がLeip郡（９％），第３位がChe郡（８％）であった．Dre郡の対総人口比は07年に16％を超えた．Leip郡のそれは，82年に10％を超え，07年には15％に近づいた．Che郡のそれは07年に10％に近づいた．49年と61年の郡域は異なり，71年以後の郡域は61年よりも狭くなったけれども，上記３郡の比率合計を試算してみると，概算で，49年27％，61年30％，71年28％，07年41％となる．71年に縮小したDre郡，Leip郡とChe郡で人口が急増し，その傾向は07年まで続いていた．07年に３郡のみで総人口の４割を超えたのである．これは首都ドレースデン，大市都市ライプツィヒと工業都市ケムニツの，そして，３市周辺自治

体の，人口急増に起因した．

71年以後，郡農業人口の対総人口比は，全26郡で，82年の上昇後，低下した．07年の同比率は全郡で71年よりも低かった．同比率が最も高い郡は，B県Ⅰ郡（バウツェン市を含む．49年に2.6%，61年に2.5%）であった．同比率は71年にBau郡が，そして，82年に計５郡（Dre郡，Mei郡，Pir郡，Gri郡とBau郡）が，１%を僅かに超えたけれども，Bau郡は95年以後に，その他の上記４郡は82年以外には，１%に達しなかった．

郡工業人口の対総人口比は71年から07年まで，計９郡（Dip郡，Fre郡，Döb郡，Roc郡（07年は同率），Flö郡，Gla郡，Mar郡，Löb郡とZit郡）で，低下し続けた．また，計６郡（Bor郡，Ann郡，Oel郡，Schw郡，Bau郡とKam郡）で，07年の同比率が71年よりも低かった（Schw郡で同率）．したがって，それらの合計，15郡（全郡の58%）では工業人口の増加が総人口の増加よりも緩慢であった．それに対して，同比率は計６郡（Dre郡，Mei郡，Pir郡，Leip郡，Che郡とPla郡）で，上昇し続けた．また，５郡（Gron郡，Gri郡，Osc郡，Aue郡とZwi郡）は，07年の同比率が71年よりも高かった．したがって，それらの合計，11郡（全郡の42%）では工業人口の増加が総人口よりも急速であった．

工業人口の対総人口比が最も高い郡は，Z県Ⅰ郡（49年に6.2%，61年に6.9%），71年にChe郡（5.4%），82年にDre郡（6.5%），07年にDre郡（8.7%）であった．第２位はZ県Ⅱ郡（49年に5.0%，61年に5.4%），71年にDre郡（4.5%），82年にChe郡（6.0%），07年にLeip郡（8.6%）であった．第３位は49年にB県Ⅱ郡（4.9%），61年にD県Ⅰ郡（5.2%），71年にZwi郡（4.0%），82年にLeip郡（5.6%），07年にChe郡（6.9%）であった．いくつかの郡を見ると，07年の同比率は，Leip郡で71年のそれ（3.4%）の２倍を遥かに超え，Dre郡で07年に71年の２倍弱であったが，Che郡では1.3倍に達しなかった．また，同じ時期に，Pla郡は2.1%から3.1%に，Pir郡は1.4%から1.9%に，上昇した．このように，71年以後，Dre郡，特にLeip郡，の工業人口が急激に増加した．この両郡に対して，Z県Ⅰ郡は49年と61年に，また，同郡の一部を引き継いだChe郡は，71年に，工業人口の対総人口比が最も高い郡であったけれども，71年以後には増加が比較的緩慢となった．もちろん，Che郡の増加率は，Pla郡，Dre郡とLeip郡を除く諸郡よりも，遥かに高かった．さらに，Zwi郡の工業は71年以後にほぼ４%の対総人口比を保ち続けた．ところが，Gla郡の同比率は71年の3.3%から07年の2.3%に，Zit郡は2.3%から1.6%に，Fre郡とLöb郡は2.2%から1.4%に，低下した．これら４郡は，その工業人口が07年にも総人口の1.4%以上を占める工業地域であったけれども，工業人口が総人口ほどには増加しなかった．また，07年のLöb郡とZit郡の合計比率（3.0%）は71年の両郡の合計比率（4.4%）よりも遥かに低く，後者は，両郡の前身で，郡域がほぼ重なるB県Ⅱ郡の4.9%（49年）と4.5%（61年）よりも低かった．B県Ⅱ郡およびLöb郡とZit郡の工業人口の増加は，総人口に比べて，49年以後，緩慢であった．B県の工業人口の比較的緩慢な増加は，B県Ⅱ郡およびLöb郡とZit郡のそれに基づいていた．

なお，商業人口の対総人口比は61年にL県Ⅰ郡（同比率第１位）とD県Ⅰ郡が，95年にChe郡が，１%を超えた．同比率は07年にはLeip郡で４%に，Dre郡で３%に，上昇した．

第８節　農村の産業別人口（1849－71年）

49年，61年と71年については，都市と農村の産業別人口も公表された．第10（1）表と第10（2）表中の71年欄（-71）のそれぞれ第２行，（　）は，郡・県・王国の農村の産業別人口を示す．｛%｝は郡・県・王国農村人口の産業別構成比であり，/% /は，農村の農業・工業・商業人口と人口計が郡・県・王国の当該人口に占める比率である（［%］は同表全体で同じ対王国総人口比）．

その場合，前節冒頭で記したように，49年のシュトルペン管区の農村人口（農業13,816，工業8,344，商業504，その他とも計24,327）を，一方では，B県Ⅰ郡に加算せず，B県の当該人口から差し引き，他方では，

それをD県Ⅲ郡とD県に加算した.

また，82年と同じ領域の71年のZ県３郡（Gla，SchwとZwi）農村人口に関するブラシュケの数値は，第９（1）表右側「農村計」欄のとおりであった．この数値によれば，Gla-71*農村計は協定所領農村計よりも8,280人だけ小さく，87％に減少した．それに対して，Schw-71*とZwi-71*の計の増加数合計は，3,243＋3,421＝6,664であり，これは協定所領計の減少数よりも小さい．この不一致はそのままにしておいて，先ず，協定所領農村計の減少数（8,280人）の５割がSchw-71*に，５割がZwi-71*に，帰属した，と想定し，次に，協定所領農村の産業構成が全域で同じであった，と想定しよう．この想定の下で，協定−71の農村の農業，工業と商業人口の減少数を関連両郡に配分すると，71年の農村の産業別人口は，第９（2）表右側４欄のGla-71*，Schw-71*とZwi-71*のようになる．

第10（1）表と第10（2）表中の71年欄（−71）のそれぞれ第２行を見ると，第１に，49年から71年までの22年間に，王国農村の人口計，工業人口と商業人口は増加し，農業人口は減少し続けた．王国農村人口に占める農業人口の比率は，49年の48％から61年の38％へ，さらに，71年の25％へ，低下した．農村における工業人口の構成比は42％→51％→49％と推移した．すなわち，同比率は上昇した後，僅かに低下した．しかし，71年の同比率は49年よりも高く，71年の農村工業人口は61年よりも大きかった．その結果として，農村農業人口に対する農村工業人口の比率は88％→134％→191％へ上昇し続けた．王国農村の工業人口は49年の農業人口の約９割から71年には２倍近くにまで増加したのである．

49年に王国農業人口の97％が農村人口であり，この比率が61年と71年にも95％であったのは，農民が圧倒的に農村人口であったから，当然であるが，農村工業人口の対王国工業人口比は，49年，61年と71年に53％→57.0％→56.5％と推移した．同比率は上昇した後，僅かに低下した．しかし，71年の同比率は49年よりも高かった．既に49年に王国工業人口の53％が農村人口であったから，工業を都市に局限する中世都市制度は，完全に崩壊していた．商業人口についても同じであった．

王国総人口に占める農村人口の比率は，49年から71年までに65％→63％→60％へ５％だけ低下し（都市人口の比率が上昇），農村農業人口の対総人口比は，31％→24％→15％へ半減した．農村工業人口の対総人口比は，27％→32％→29％と推移した．同比率は上昇した後，低下した．しかし，71年の同比率は49年よりも高かった．総人口に対する農村工業人口の地位は71年には49年よりも高かったわけである．ブラシュケによれば，1750年から1834年までの時期は，それ以前および以後と異なって，ザクセンの農村人口の増加率が都市のそれよりも高く，農村人口のこの増加は園地農と小屋所有者の増加に起因した（前稿第５節参照）．彼らの増加は農民以外の就業者を，特に農村工業人口を，増加させた．1849年から71年までの時期に農村人口の対総人口比は，上記のとおり，低下し続けた（始期は34年まで遡らせうる）にも拘わらず，49年から61年までは農村工業人口の増加率は，総人口のそれを上回っており，71年の農村工業人口は61年よりも大きかった．このように農村工業人口は49年から71年まで増加した[(1)]．特に49年から61年までは，農村工業人口は総人口よりも高い増加率を示した．その直前の，1834年から49年までの時期にも，農村工業人口の増加率は総人口よりも高かった，と推定される．

なお，農村における商業人口の構成比と対王国総人口比（49年に２％，71年に４％）は上昇したが，王国商業人口に占める農村の比率は，僅かに低下し，71年には４割以下となった．

第２に，49年から71年まで全４県で，農村人口と農村工業人口は増加（71年のL県の農村工業人口だけは減少）し，農村の農業人口は減少し続けた．

農村における農業人口の構成比は全４県で低下し続けた．すなわち，49年と71年だけを取ると，D県55％→31％，L県58％→31％，Z県40％→19％，B県41％→24％，に低下した．同じく工業人口の構成比は49年から71年までに，D県32％→41％→38％，L県31％→40％→34％，Z県52％→61.6％→62.2％，B

県51％→56％→54％，と推移した．すなわち，同比率は，Z県だけでは上昇し続けたけれども，他の３県では上昇の後，低下した．しかし，これら３県の71年の同比率は49年よりも高かった．概略で見て，この期間に全４県の農村工業は発展した．農村農業人口に対する農村工業人口の比率は，D県58％→90％→124％，L県53％→87％→109％，Z県131％→210％→327％，B県126％→160％→222％，へ全４県で上昇し続けた．49年に農業人口の６割以下であった，D県とL県の農村工業人口は，71年には農村農業人口を上回った．Z県とB県の農村工業人口は既に49年に農業人口を上回っていたが，71年にはB県の農村工業人口は農業の２倍を，Z県は３倍を，超えた．特にZ県の増加率が大きかった．

県人口計に対する県農村人口の比率は全４県で低下した．49年と71年を取ると，D県65％→56％，L県59％→57％，Z県61％→57％，B県84％→82％，であった．王国農村人口全体と同じく，全４県の農村人口は都市ほどには増加しなかった．また，県人口計に対する県農村人口の比率は，B県では本領地域３県よりも２割以上高かった（B県では都市人口比率が低かった）．

県農業人口に対する農村農業人口の比率は，49年と71年を取ると，D県97％→95％，L県96％→95％，Z県96％→94％，B県98％→97％，であり，全４県で僅かに低下した（都市農業人口の比率上昇）．県工業人口に対する農村工業人口の比率は，49年から71年までに，D県51％→54％→53％，L県41％→49％→47％，Z県51％→54％→55％，B県81％→82％→83％，と推移した．D県とL県の同比率は上昇の後，僅かに低下したが，71年の同比率は49年よりも高かった．Z県とB県の同比率は上昇し続けた．全４県で農村工業人口は大体において各県の工業人口よりも増加した．また，D県とZ県の農村工業人口は既に49年に県工業人口の５割に達していたが，L県も71年に５割に近づいた．本領地域３県では，農村人口の対県人口計比と同じように，農村工業人口は71年にも県工業人口の６割を超えなかったのに対して，県人口計に対する県農村人口の比率が８割を超えていたB県では，工業人口も圧倒的に農村人口であり，県工業人口に対する農村工業人口の比率は８割を超えていた．この比率は本領地域３県よりも約３割高かった．

県農村人口の対王国総人口比は全４県で僅かに低下した．49年と71年を取ると，D県17.6％→15.0％，L県13.4％→13.2％，Z県22.4％→21.7％，B県11.7％→10.6％，であった．L県だけは，同比率が61年に僅かに上昇したが，71年には49年よりも低くなった．全４県で農村人口は都市ほどには増加しなかったわけである．

県農村農業人口の対総人口比は全４県で低下し続けた．49年と71年で，D県9.7％→4.6％，L県7.8％→4.1％，Z県8.9％→4.1％，B県4.8％→2.6％，であり，特にD県とZ県で半減した．

県農村工業人口の対総人口比は，49年から71年までに，D県5.6％→6.4％→5.7％，L県4.1％→5.4％→4.4％，Z県11.6％→13.8％→13.5％，B県6.0％→6.5％→5.7％，と推移した．すなわち，同比率は上昇の後，低下した．71年の同比率はB県のみで49年よりも低く，本領地域３県では高かった．71年の低下率が最も小さかったZ県は，王国最大の農村工業人口を維持し，それの対総人口比は71年に49年よりも約２％だけ上昇した．B県の農村工業人口は，49年に王国で第２位であったけれども，61年にはD県とほぼ同じとなった．49年に第３位であったD県の農村工業人口が急増したためである．49年から71年までに，既述のように，王国農村工業人口は増加し続けたが，４県で概略を見ると，本領地域３県，特にZ県，の農村工業人口の対総人口比は上昇し，B県のそれは低下した．

なお，商業人口に占める農村の比率は，D県とZ県で低下し続けた．同比率は，61年にL県とB県で上昇し，71年には，B県で低下し，L県は同率であった．商業人口に占める農村の比率は，71年には49年よりもD県とZ県で低く，B県で僅かに高く，L県でかなり高かった．

第３に，郡人口計に占める農村人口の比率は，D県Ｉ郡（比率は両年とも最低），L県Ｉ郡と協定所領，計３郡で極めて低かった（49年に，42－52％，61年に45－51％）．その他の本領地域10郡の中で49年に，

８郡は61－73％，残りの２郡（D県Ⅱ郡とD県Ⅳ郡）は79－81％で，61年にその他の本領地域10郡は60－75％であった．それに対して，同比率はB県の全２郡で高く，49年に79－88％で，61年に81－86％であった．同比率は71年に，計４郡（Dre郡［最低］，Pla郡，Leip郡と協定所領，35－47％．全26郡の15％）が低く，計５郡（Dip郡とB県の全４郡，比率77％以上．全郡の19％）が高く，最高はLöb郡の89％であった．本領地域のその他の17郡（全郡の65％）は60－76％であった．このように，同比率は，本領地域諸郡では，49年の２郡（D県Ⅱ郡と同県Ⅳ郡）および71年の１郡（Dip郡）を除くと，低く，B県の全郡で極めて高かった．しかも，B県諸郡の同比率はこの期間に殆ど低下しなかった．

郡農村人口に占める農業人口の比率は，49年にL県Ⅲ郡の68％が最も高く，同比率が５割を超える郡は，計７郡（D県の３郡，L県の３郡とB県Ⅰ郡）であった．61年に同比率は計３郡（54％のD県Ⅲ郡，L県Ⅱ郡とL県Ⅳ郡）が最も高く，同比率が５割以上の郡は，計４郡（D県の２郡とL県の２郡）に減少し，71年にはゼロとなった（最高はGri郡の45％）．このように，同比率が５割以上の郡の比率は，49年の全郡の47％から61年の27％へ，そして，71年の０％へ，急激に低下した．農村の農業人口比率が最も低い郡は，49年にB県Ⅱ郡（31％），61年にZ県Ⅰ郡（22％），71年にChe郡とSchw郡（ともに12％）であった．

郡農村人口に占める工業人口の比率は，49年に計４郡（Z県の３郡とB県Ⅱ郡）で５割を上回り，B県Ⅱ郡の61％が最も高く，Z県Ⅱ郡も５割に近かった．61年に同比率が５割を超える郡は，計７郡（D県Ⅳ郡，B県Ⅱ郡とZ県の全５郡）であり，Z県Ⅰ郡の71％が最も高かった．同比率は71年に計12郡（Fre郡，Roc郡，Löb郡，Zit郡とZ県の８郡）で５割を超えており，Che郡の74％が最も高く，Oel郡も５割に近かった．このように，工業人口比率が５割以上の郡の比率は，ほぼ５割の郡を含めると，49年の全郡の33％から61年の47％に，さらに，71年の５割に，上昇した．農村工業人口比率が最も低い郡は，49年にL県Ⅲ郡（21％），61年にD県Ⅲ郡（30％），71年にBor郡（22％）であった．

農村の農業人口が工業人口を上回る郡は，49年に計９郡（D県の３郡，L県の全４郡，Z県Ⅳ郡とB県Ⅰ郡），61年に計５郡（D県の２郡とL県の３郡），71年に計６郡（Bor郡，Gri郡，Gron郡，Mei郡，Dip郡とDöb郡）であった．このような郡の比率は，49年の全郡の６割から61年の33％に，さらに，71年の23％に，低下した．農村の農業人口は，49年にD県Ⅲ郡で工業人口の２倍以上，D県Ⅱ郡で３倍，L県Ⅲ郡で３倍以上，であった．農村農業人口が工業の２倍の郡は，61年にはゼロとなり，71年にはBor郡のみであった．それに対して，農村工業人口が農業人口を上回る郡は，49年に計６郡（D県Ⅳ郡，B県Ⅱ郡とZ県の４郡）あり，61年には計９郡（L県Ⅰ郡，B県Ⅱ郡とD県の２郡，それに，Z県の全５郡）に増加し，B県Ⅰ郡は同率であった．農村工業人口は71年に20郡で農業を上回った．農村工業人口が農業を上回る郡の比率は，49年に全郡の４割から，61年の６割に，さらに，71年の８割に，上昇した．農村工業人口は，49年にZ県Ⅰ郡，協定所領とB県Ⅱ郡で農業の２倍に近く，61年に協定所領とB県Ⅱ郡で農業の２倍以上，Z県Ⅰ郡で３倍以上であり，71年に計４郡（Leip郡，Ann郡，Zwi郡とLöb郡）で農業の３倍，協定所領で４倍，Zit郡で約５倍，Schw郡で５倍以上，Che郡で６倍以上であった．このように，Z県の大部分の郡とB県Ⅱ郡（71年にはLöbとZit郡）では農村工業が特に発展した．

農村の人口計の対王国総人口比が最も高い郡は，49年にB県Ⅱ郡（7.0％）で，Z県Ⅰ郡（6.1％）が続いた．61年に第１位はZ県Ⅰ郡（6.2％）で，第２位はB県Ⅱ郡（6.1％）であった．細分化された，71年の郡では，Z県Ⅰ郡の一部を受け継いだChe郡（4.6％）が，第１位となり，Dre郡とLeip郡（ともに4.0％）が第２位に入って，B県Ⅱ郡は姿を消した．B県の人口計の相対的低下およびD県とL県の相対的上昇が，郡の比較でも現れた．農村農業人口の対総人口比が最も高い郡は，49年にD県Ⅲ郡（2.9％）で，D県Ⅱ郡（2.8％）が第２位であった．61年にB県Ⅰ郡（2.5％）が第１位で，第２位はD県Ⅰ郡とD県Ⅱ郡（ともに2.0％）であった．71年には，B県Ⅰ郡（49年の数値の修正について本稿冒頭を参照）の一部を引き継いだBau郡（1.0％）が

最高で，ほぼ0.9％のDre郡，Mei郡とGri郡が続いた．農村工業人口の対総人口比が最も高い郡は，49年にB県Ⅱ郡（4.3％）で，Z県Ⅰ郡（3.6％）が第２位であった．61年にZ県Ⅰ郡（4.4％）が最も高く，B県Ⅱ郡（4.0％）が続いた．71年には第１位Che郡（3.4％），第２位Zwi郡（2.2％）となった．71年のLöb郡とZit郡の比率合計は3.9％で，49年と61年のB県Ⅱ郡に及ばなかった．B県農村工業の地位の低下がここに示されていた．

なお，郡の農業人口に占める農村の比率は，49年に全15郡で89％以上，61年に87％以上であった．71年に23郡が88％以上で，例外は計３郡（80％のAnn郡，83％のKam郡と84％のSchw郡）のみであった．また，郡の工業人口に占める農村の比率は，D県の３郡で49年に34－58％，61年に44－58％，同県Ⅳ郡（鉱山業都市フライベルクを含む）で49年に70％，61年に69％で，L県の全４郡で49年に36－43％，61年に41－52％で，Z県の４郡で49年に43－52％，61年に44－56％，同県Ⅰ郡で49年に58％，61年に64％であった．それに対して，B県では同比率が極めて高く，Ⅰ郡は49年に67％，61年に75％であり，Ⅱ郡は格段に高く，49年に89％，61年に88％であった．同比率は，71年にPla郡（27％）が極端に低く（都市工業の優位），36－40％が計３郡（Dre郡，Bor郡とDöb郡）で，D県の４郡52－66％，Fre郡のみ73％，L県の４郡46－57％，Z県の８郡44－63％，Mar郡のみ74％，B県ではKam郡70％，Bau郡75％，Zit郡85％，Löb郡91％であった．このように，B県Ⅰ郡の同比率は49年と61年に同県Ⅱ郡よりも低く，Bau郡とKam郡の同比率は71年にZit郡とLöb郡よりも低かったが，B県Ⅰ郡およびKam郡とBau郡の同比率（49年の67％，61年の75％，71年の70－75％）を，超える比率は，本領地域の13郡（49年と61年）と22郡（71年）の中で，49年のD県Ⅳ郡（70％）と71年のFre郡（73％）においてのみ見られた．しかし，D県Ⅳ郡とFre郡のこの比率は，B県Ⅱ郡およびZit郡とLöb郡の同比率（49年の89％，61年の88％および71年の85－91％）と比較すると，遥かに低かった．49年から71年までのB県全郡の工業は主として農村工業であったが，特に49年と61年のⅡ郡の，また，71年のZit郡とLöb郡の，工業は圧倒的に農村工業であった．ここは，かつて農場領主制の下で農村麻織物工業が展開した[(2)]地域であった．

ただし，49年，61年と71年の人口と農村人口に関する，第７－８節の比較･検討は，第10（1）表と第10（2）表の数値に従ったものである．王国に関して，49年の数値は３度修正され，61年の数値も２度修正されたから，修正前の数値である，上記表の県と郡の数値および県農村と郡農村のそれも問題を含んでいるであろう．基準が同じである，前稿第７表1849年（4），1861年（3）および1871年の王国の数値と比較してみる．1849年（4）の人口において，農業人口は1849年（1）とほぼ同じ，商業は大きくなり（1.4倍），工業は小さくなっている（９割）．また，1861年（3）の人口において，農業人口は1861年（1）とほぼ同じ，工業は95％に，商業は96％に，小さくなっている．これは工業と商業の分類基準変更に基づくであろう．比率で見ると，1849年（1）と1861年（1）で農業人口比率は32％から25％に低下し，工業人口は51％から56％に，商業は５％から８％に，上昇した．それに対して，1849年（4），1861年（3）と1871年では，農業人口比率は49年の32％から61年の25％に，さらに71年の16％に，低下し，商業のそれは６％から７％に，さらに，10％に，上昇した．農業人口比率の低下傾向と商業の上昇傾向は持続した．しかし，工業人口比率は46％から54％に上昇した後，52％に低下し，農業および商業の比率とは異なった傾向を示した．49年と61年の修正後の工業人口比率が修正前よりも低いのは，分類基準変更に基づくであろう．しかし，分類基準が同じである，1861年（3）と1871年で，工業人口は増加したけれども，総人口ほどには増加しなかったために，工業人口比率は低下した．この事態はどのように理解されるべきであろうか．筆者には不明である．

第９節　小区分産業別人口

郡の小区分産業別人口は82年調査についてのみ公表された．第11表[1]は，小区分人口の中で，金属（鉄と非鉄金属を一括），機械と繊維のみを示す．［％］は対王国総人口比，〈％〉は郡・県・王国人口計に対する比率である．

第11表で王国を見ると，繊維工業人口は総人口の16％を占めたのに対して，金属工業人口と機械工業人口は極めて小さく，その中では前者が後者よりも大きかった．繊維工業人口は金属と機械の合計の2.6倍であった．

県では，県人口に占める繊維工業の比率は，Z県で最も高く（29％），B県がそれに次いでいたが，L県，特にD県（２％）では極めて低かった．王国総人口に占める繊維工業の比率は，Z県11％，B県３％であり，D県とL県は1.5％以下であった．金属工業と機械工業の合計人口と比較して，繊維工業人口は，D県では合計の３割余りを占めたに過ぎないが，L県でほぼ同じ，Z県で４倍に近く，B県では７倍以上であった．B県の工業人口は圧倒的に繊維工業に属していた．他の３県と異なって，Z県では機械工業人口の構成比が金属工業を１％だけ上回っていた．Z県の３工業部門の人口は，いずれも４県で最大であった．４県の３工業部門の中で，対総人口比が１％以上の工業は，Z県の繊維・機械・金属工業（合計して，総人口の13.8％），および，B県の繊維工業（3.0％）とL県の同工業（1.4％）であり，D県の金属工業（0.9％）がそれに近かった．

郡の産業別人口の構成比に関して，D県とL県では，Roc郡の繊維工業，24％が高く，Döb郡の繊維工業，12％がそれに次いでいた．対王国総人口比が0.5％を上回るのは，Roc郡繊維工業とDre郡金属工業のみであった．Z県とB県では，繊維工業の構成比は全14郡で15％以上であった．その中のZ県の４郡とB県の２郡では，32－35％であり，Gla郡は飛び抜けて高く，47％であった．繊維工業人口の対総人口比はZ県の５郡とB県の２郡で，１％以上で，同比率が最も高い郡は，2.7％のChe郡であった．３郡（Aue郡，Flö郡とBau郡）も0.5％以上であった．かつて農村麻織物工業が発達したB県Ⅱ郡は，19世紀央に農村工業人口の高い比率を示した（前節）が，世紀末においてLöb郡とZit郡の工業は圧倒的に繊維工業であり（構成比で32－35％），繊維工業人口は金属と機械の合計の10倍前後であった（同県の他の２郡では５倍前後）．Z県の３郡（Aue郡，Che郡とOel郡）では，機械工業の構成比が10％以上で，金属工業のそれを大幅に上回った（２倍から８倍）けれども，機械工業人口の対総人口比は，同比率が最も高いChe郡においても，0.9％に届かなかった．Z県では繊維工業人口は，Oel郡からZwi郡までの６郡では金属と機械の合計の1.5－５倍で，それ以外では，Flö郡の７倍，Ann郡とPla郡の10倍前後とGla郡の17倍であった．

第11表　小区分産業別人口（1882年）

郡	金属	機械	繊維	金属	機械	繊維
Dip	1,065 ［ 0.04%］	1,126 ［ 0.04%］	206 ［ 0.01%］	〈 2.1 %〉	〈 2.2 %〉	〈 0.4%〉
Dre	15,988 ［ 0.53%］	10,398 ［ 0.34%］	4,299 ［ 0.14%］	〈 4 %〉	〈 3 %〉	〈 1 %〉
Fre	2,980 ［ 0.10%］	1,289 ［ 0.04%］	3,068 ［ 0.10%］	〈 3 %〉	〈 1 %〉	〈 3 %〉
Gron	2,674 ［ 0.09%］	1,021 ［ 0.03%］	3,263 ［ 0.11%］	〈 4 %〉	〈 2 %〉	〈 5 %〉
Mei	2,855 ［ 0.09%］	1,588 ［ 0.05%］	1,408 ［ 0.05%］	〈 3 %〉	〈 2 %〉	〈 2 %〉
Pir	3,559 ［ 0.12%］	1,510 ［ 0.05%］	3,305 ［ 0.11%］	〈 3 %〉	〈 1 %〉	〈 3 %〉
D県	28,191 ［ 0.94%］	16,922 ［ 0.56%］	15,549 ［ 0.52%］	〈 3 %〉	〈 2 %〉	〈 2 %〉
Bor	1,725 ［ 0.06%］	914 ［ 0.03%］	1,260 ［ 0.04%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈 2 %〉
Dob	2,895 ［ 0.10%］	1,575 ［ 0.05%］	11,462 ［ 0.38%］	〈 3 %〉	〈 2 %〉	〈12 %〉
Gri	2,023 ［ 0.07%］	2,000 ［ 0.07%］	942 ［ 0.03%］	〈 2.47%〉	〈 2.44%〉	〈 1 %〉
Leip	13,856 ［ 0.46%］	11,276 ［ 0.37%］	6,750 ［ 0.22%］	〈 4 %〉	〈 3 %〉	〈 2 %〉
Osc	1,223 ［ 0.04%］	1,337 ［ 0.04%］	717 ［ 0.02%］	〈 2 %〉	〈 3 %〉	〈 1 %〉
Roc	2,055 ［ 0.07%］	1,483 ［ 0.05%］	22,009 ［ 0.73%］	〈 2.2 %〉	〈 1.6 %〉	〈24 %〉
L県	23,787 ［ 0.79%］	18,585 ［ 0.62%］	43,140 ［ 1.43%］	〈 3.3 %〉	〈 2.5 %〉	〈 6 %〉
Ann	2,442 ［ 0.08%］	1,008 ［ 0.03%］	31,527 ［ 1.05%］	〈 3 %〉	〈 1 %〉	〈35 %〉
Aue	1,419 ［ 0.05%］	7,819 ［ 0.26%］	23,127 ［ 0.77%］	〈 2 %〉	〈10 %〉	〈32 %〉
Che	11,915 ［ 0.40%］	24,927 ［ 0.83%］	80,458 ［ 2.67%］	〈 5 %〉	〈10 %〉	〈32 %〉
Flo	1,480 ［ 0.05%］	1,433 ［ 0.05%］	21,214 ［ 0.70%］	〈 1.93%〉	〈 1.87%〉	〈28 %〉
Gla	2,341 ［ 0.08%］	1,043 ［ 0.03%］	58,533 ［ 1.94%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈47 %〉
Mar	1,893 ［ 0.06%］	792 ［ 0.03%］	10,863 ［ 0.36%］	〈 3 %〉	〈 1 %〉	〈18 %〉
Oel	731 ［ 0.02%］	5,804 ［ 0.19%］	9,289 ［ 0.31%］	〈 1 %〉	〈11 %〉	〈18 %〉
Pla	2,425 ［ 0.08%］	1,171 ［ 0.04%］	36,860 ［ 1.22%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈33 %〉
Schw	6,512 ［ 0.22%］	2,048 ［ 0.07%］	14,685 ［ 0.49%］	〈 7 %〉	〈 2 %〉	〈16 %〉
Zwi	4,663 ［ 0.15%］	3,638 ［ 0.12%］	42,657 ［ 1.41%］	〈 2.4 %〉	〈 1.9 %〉	〈22 %〉
Z県	35,821 ［ 1.19%］	49,683 ［ 1.63%］	329,213 ［10.92%］	〈 3 %〉	〈 4 %〉	〈29 %〉
Bau	2,283 ［ 0.08%］	1,233 ［ 0.04%］	15,865 ［ 0.53%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈15 %〉
Kam	1,118 ［ 0.04%］	691 ［ 0.02%］	10,930 ［ 0.36%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈19 %〉
Lob	1,703 ［ 0.06%］	1,184 ［ 0.04%］	32,470 ［ 1.08%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈35 %〉
Zit	2,193 ［ 0.07%］	1,314 ［ 0.04%］	30,739 ［ 1.02%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈32 %〉
B県	7,297 ［ 0.24%］	4,422 ［ 0.15%］	90,004 ［ 2.99%］	〈 2 %〉	〈 1 %〉	〈26 %〉
王国	95,096 ［ 3.15%］	89,612 ［ 2.97%］	477,906 ［15.85%］	〈 3.2 %〉	〈 3.0 %〉	〈16 %〉

第10節　産業別就業者統計

郡の小区分産業別人口は1882年調査のみ公表された（第９節）．郡の小区分産業別就業者数は以後の調査でも公表されたので，それと比較するために，郡と県の産業別就業者数を検討しよう．第12（1）表[(1)]において，〈%〉は郡・県・王国就業者計の産業別構成比である．産業の中では農業と工業の数値のみを紹介する．また，49年については，第１節冒頭で記したと同じく，シュトルペン管区の自立者（農業7,173，工業5,104，商業などとも計14,003，および，農村の農業7,081，工業3,791，計12,149）を，一方では，B県Ⅰ郡に加算せず，B県計から差し引き，他方では，D県Ⅲ郡とD県に加算した．

49年，61年と75年については，王国（１統計だけは４県を含む）の修正数値が公表された．それらを一括して，第12（2）表[(2)]に示す．なお，1910年に公表されたのは，就業者の構成比のみであった．本表の農業と工業の実数は，それから算出された数値である．

第12（1）表　郡の産業別就業者

郡	農業	工業	計	農業	工業	計
Ⅰ郡-49	23,434	34,649	93,184	〈 25%〉	〈 37%〉	〈100%〉
	(22,066)	(10,096)	(37,736)	｛58%｝/94% /	｛27%｝/29% /	｛100%｝/40% /
Ⅰ郡-61	26,798	54,476	130,404	〈 21%〉	〈 42%〉	〈100%〉
	(25,154)	(20,804)	(55,068)	｛46%｝/94% /	｛38%｝/38% /	｛100%｝/42% /
Ⅱ郡-49	28,062	11,838	49,062	〈 57%〉	〈 24%〉	〈100%〉
	(27,829)	(6,550)	(40,084)	｛69%｝/99% /	｛16%｝/55% /	｛100%｝/82% /
Ⅱ郡-61	24,774	18,824	55,085	〈 45%〉	〈 34%〉	〈100%〉
	(24,179)	(10,326)	(40,934)	｛60%｝/98% /	｛25%｝/55% /	｛100%｝/74% /
Ⅲ郡-49	30,373	20,919	63,438	〈 48%〉	〈 33%〉	〈100%〉
	(29,469)	(11,009)	(48,045)	｛61%｝/97% /	｛23%｝/53% /	｛100%｝/76% /
Ⅲ郡-61	21,031	18,299	49,915	〈 42%〉	〈 37%〉	〈100%〉
	(19,637)	(9,366)	(34,548)	｛57%｝/93% /	｛27%｝/51% /	｛100%｝/69% /
Ⅳ郡-49	21,263	23,333	54,231	〈 39%〉	〈 43%〉	〈100%〉
	(20,892)	(15,902)	(42,468)	｛49%｝/98% /	｛37%｝/68% /	｛100%｝/78% /
Ⅳ郡-61	19,554	28,832	59,551	〈 33%〉	〈 48%〉	〈100%〉
	(18,799)	(19,269)	(44,233)	｛43%｝/96% /	｛44%｝/67% /	｛100%｝/74% /
D県-49	95,959	85,635	245,912	〈 39%〉	〈 35%〉	〈100%〉
	(93,175)	(39,766)	(156,184)	｛60%｝/97% /	｛25%｝/46% /	｛100%｝/64% /
D県-61	92,157	120,431	294,955	〈 31%〉	〈 41%〉	〈100%〉
	(87,769)	(59,765)	(174,783)	｛50%｝/95% /	｛34%｝/50% /	｛100%｝/59% /
Ⅰ郡-49	24,946	35,235	88,938	〈 28%〉	〈 40%〉	〈100%〉
	(23,879)	(14,190)	(44,315)	｛54%｝/96% /	｛32%｝/40% /	｛100%｝/50% /
Ⅰ郡-61	19,503	41,986	100,402	〈 19%〉	〈 42%〉	〈100%〉
	(18,416)	(19,220)	(47,236)	｛39%｝/94% /	｛41%｝/46% /	｛100%｝/47% /
Ⅱ郡-49	17,496	17,314	42,971	〈 41%〉	〈 40%〉	〈100%〉
	(16,986)	(7,282)	(27,524)	｛62%｝/97% /	｛26%｝/42% /	｛100%｝/64% /
Ⅱ郡-61	21,865	17,247	49,554	〈 44%〉	〈 39%〉	〈100%〉
	(20,091)	(8,711)	(34,465)	｛58%｝/92% /	｛25%｝/51% /	｛100%｝/70% /
Ⅲ郡-49	22,505	11,800	42,681	〈 53%〉	〈 28%〉	〈100%〉
	(21,062)	(4,821)	(30,271)	｛70%｝/94% /	｛16%｝/41% /	｛100%｝/71% /
Ⅲ郡-61	18,013	24,484	50,683	〈 36%〉	〈 48%〉	〈100%〉
	(17,279)	(12,404)	(33,598)	｛51%｝/96% /	｛37%｝/51% /	｛100%｝/66% /
Ⅳ郡-49	16,355	15,154	37,614	〈 43%〉	〈 40%〉	〈100%〉
	(16,051)	(5,245)	(24,169)	｛66%｝/98% /	｛22%｝/35% /	｛100%｝/64% /
Ⅳ郡-61	18,224	22,083	48,952	〈 37%〉	〈 45%〉	〈100%〉
	(17,748)	(8,483)	(29,825)	｛60%｝/97% /	｛28%｝/38% /	｛100%｝/61% /
L県-49	81,301	79,503	212,204	〈 38%〉	〈 37%〉	〈100%〉
	(77,978)	(31,538)	(126,279)	｛62%｝/96% /	｛25%｝/40% /	｛100%｝/60% /
L県-61	77,605	105,800	249,591	〈 31%〉	〈 42%〉	〈100%〉
	(73,534)	(48,818)	(145,124)	｛51%｝/95% /	｛34%｝/46% /	｛100%｝/58% /
Ⅰ郡-49	20,409	51,491	83,636	〈 24%〉	〈 62%〉	〈100%〉
	(19,908)	(30,636)	(55,194)	｛36%｝/98% /	｛56%｝/59% /	｛100%｝/66% /
Ⅰ郡-61	17,280	75,735	108,158	〈 16%〉	〈 70%〉	〈100%〉
	(16,678)	(49,024)	(71,474)	｛23%｝/97% /	｛69%｝/65% /	｛100%｝/66% /
Ⅱ郡-49	21,328	44,295	77,908	〈 27%〉	〈 57%〉	〈100%〉
	(20,375)	(24,178)	(49,649)	｛41%｝/96% /	｛49%｝/55% /	｛100%｝/64% /
Ⅱ郡-61	19,746	57,550	92,631	〈 21%〉	〈 62%〉	〈100%〉
	(18,533)	(32,460)	(57,397)	｛32%｝/94% /	｛57%｝/56% /	｛100%｝/61% /

Ⅲ郡-49	14,362	34,910	56,645	〈 25%〉	〈 62%〉	〈100%〉
	(12,790)	(18,440)	(34,744)	｛ 37%｝/89% /	｛ 53%｝/53% /	｛100%｝/61% /
Ⅲ郡-61	14,129	45,885	68,071	〈 21%〉	〈 67%〉	〈100%〉
	(12,169)	(27,128)	(42,876)	｛ 28%｝/86% /	｛ 63%｝/59% /	｛100%｝/63% /
Ⅳ郡-49	24,046	38,431	72,191	〈 29%〉	〈 53%〉	〈100%〉
	(23,403)	(17,736)	(45,149)	｛ 52%｝/97% /	｛ 39%｝/46% /	｛100%｝/63% /
Ⅳ郡-61	22,123	57,419	91,301	〈 24%〉	〈 63%〉	〈100%〉
	(20,845)	(29,376)	(55,767)	｛ 37%｝/94% /	｛ 53%｝/51% /	｛100%｝/61% /
協定-49	8,396	26,862	40,552	〈 21%〉	〈 66%〉	〈100%〉
	(7,963)	(11,794)	(21,463)	｛ 37%｝/95% /	｛ 55%｝/44% /	｛100%｝/53% /
協定-61	8,126	40,725	56,053	〈 14%〉	〈 73%〉	〈100%〉
	(7,491)	(17,752)	(27,519)	｛ 27%｝/92% /	｛ 65%｝/44% /	｛100%｝/49% /
Z県-49	88,541	195,998	330,931	〈 27%〉	〈 59%〉	〈100%〉
	(84,589)	(102,784)	(206,199)	｛ 41%｝/96% /	｛ 50%｝/52% /	｛100%｝/62% /
Z県-61	81,404	277,314	416,214	〈 20%〉	〈 67%〉	〈100%〉
	(75,716)	(155,740)	(255,033)	｛ 30%｝/93% /	｛ 61%｝/56% /	｛100%｝/61% /
Ⅰ郡-49	24,953	20,939	54,665	〈 46%〉	〈 38%〉	〈100%〉
	(24,537)	(14,370)	(43,511)	｛ 56%｝/98% /	｛ 33%｝/69% /	｛100%｝/80% /
Ⅰ郡-61	30,359	35,571	78,261	〈 39%〉	〈 45%〉	〈100%〉
	(29,692)	(27,153)	(64,175)	｛ 46%｝/98% /	｛ 42%｝/76% /	｛100%｝/82% /
Ⅱ郡-49	22,812	47,107	78,198	〈 29%〉	〈 60%〉	〈100%〉
	(22,099)	(42,515)	(69,781)	｛ 21%｝/97% /	｛ 61%｝/90% /	｛100%｝/89% /
Ⅱ郡-61	20,758	57,996	89,965	〈 23%〉	〈 64%〉	〈100%〉
	(19,807)	(51,777)	(78,596)	｛ 25%｝/95% /	｛ 66%｝/89% /	｛100%｝/87% /
B県-49	47,765	68,046	132,863	〈 36%〉	〈 60%〉	〈100%〉
	(46,636)	(56,885)	(113,292)	｛ 41%｝/98% /	｛ 50%｝/84% /	｛100%｝/85% /
B県-61	51,117	93,567	168,226	〈 30%〉	〈 56%〉	〈100%〉
	(49,499)	(78,930)	(142,771)	｛ 35%｝/97% /	｛ 55%｝/84% /	｛100%｝/85% /
王国-49	320,739	434,286	935,913	〈 34%〉	〈 46%〉	〈100%〉
	(309,459)	(234,764)	(614,103)	｛ 50%｝/96% /	｛ 38%｝/54% /	｛100%｝/66% /
王国-61	302,283	597,112	1,128,986	〈 27%〉	〈 53%〉	〈100%〉
	(286,518)	(343,253)	(717,711)	｛ 40%｝/95% /	｛ 48%｝/57% /	｛100%｝/64% /

第12（2）表　産業別就業者

	農業	工業	計	農業	工業	計
	1849年（2）（1863年公表値）					
D県	95,959	82,306	245,912	〈39%〉	〈33%〉	〈100%〉
L県	81,301	75,560	212,204	〈38%〉	〈36%〉	〈100%〉
Z県	88,541	193,384	330,931	〈27%〉	〈58%〉	〈100%〉
B県	54,938	71,968	146,866	〈37%〉	〈49%〉	〈100%〉
王国	320,739	423,024	935,913	〈34%〉	〈45%〉	〈100%〉
王国	1849年（3）（1875年公表値）					
	239,935	397,103	935,913	〈26%〉	〈42%〉	〈100%〉
王国	1849年（4）（1879年公表値）					
	320,917	397,545	935,913	〈34%〉	〈42%〉	〈100%〉
王国	1849年（5）（1886年公表値）					
	334,780	408,183	935,913	〈36%〉	〈44%〉	〈100%〉
王国	1849年（6）（1910年公表値）					
	347,224	423,969	935,913	〈37.1%〉	〈45.3%〉	〈100%〉
王国	1861年（2）（1875年公表値）					
	236,022	544,808	1,128,986	〈21%〉	〈48%〉	〈100%〉
王国	1861年（3）（1879年公表値）					
	302,442	546,493	1,128,986	〈27%〉	〈48%〉	〈100%〉
王国	1861年（4）（1886年公表値）					
	328,883	567,210	1,128,986	〈29%〉	〈50%〉	〈100%〉
王国	1861年（5）（1910年公表値）					
	343,212	591,589	1,128,986	〈30.4%〉	〈52.4%〉	〈100%〉
王国	1871年（1）（1875年公表値）					
	248,855	635,976	1,286,180	〈19%〉	〈49%〉	〈100%〉
王国	1875年（1）（1879年公表値）					
	209,917	613,934	1,271,635	〈17%〉	〈48%〉	〈100%〉
王国	1875年（2）（1886年公表値）					
	262,940	651,093	1,271,635	〈21%〉	〈51%〉	〈100%〉
王国	1875年（3）（1910年公表値）					
	275,945	682,868	1,271,635	〈21.7%〉	〈53.7%〉	〈100%〉

第７節注

（注１）松尾 2023.

（注２）松尾 1990，S. 14-15（第３表），24-25（第６表），32-33（第10表）．Vgl. Einwohnerzahlen 1834－1900, Beil. 2-4；松尾 1990，第３－第５図．なお，裁判管区は74年に全廃され，シュトルペン裁判管区の領域はD県ピルナ郡の一部となった．

（注３）ただし，Berufszählung 1861（S. 74）における49年の数値は，シュトルペン管区の管轄県変更後のものであるが，D県および王国の農業人口と県人口計・総人口は本表-49と同じであるけれども，D県と王国の工業人口，B県の農業・工業人口と県人口計は本表-49と異なる．

（注４）Berufszählung 1849(1), S. 210-211.

（注５）Berufszählung 1871(2), S. 92, 96, 110; Berufszählung 1882, S. 192.

（注６）Blaschke 1965, S. 78.

（注７）49年(1)はBerufszählung 1849(1), S. 200-211より，49年(2)はBerufszählung 1907(3)，S. 249より，61年(1)はBerufszählung 1861, S. 78-92より, 61年(2)はBerufszählung 1907, S. 249より, 71年はBerufszählung 1871(2), S. 1-111より, 75年はBerufszählung 1907, S. 249より, 82年はBerufszählung 1882, S. 174-192より, 95年(1)はBerufszählung 1895, S. 38-39より, 95年(2)はBerufszählung 1907, S. 249より，07年(1)はBerufszählung 1907(1), S. 10; Geographie 1910, S. 560-573より，07年(2)はBerufszählung 1907(3), S. 249より，計算. Vgl. Stat. Jahrbuch 1886, S. 164-173; Stat. Jahrbuch 1898, S. 146-153; Stat. Jahrbuch 1909, S. 14-15; Stat. Jahrbuch 1910, S. 14-15.

第８節注

（注１）(1)第10（2-4）表によれば，1871年に王国総人口は2,556,244，総人口の52％（1,324,869）が工業人口，後者の中の57％（748,673）が農村工業人口（対総人口比29％）であった．(2)人口２千以下の自治体を①とし，人口２－20千の自治体を②とすると，07年に王国総人口は4,585,500，工業人口は2,719,297，後者の中の669,692が「農村」（自治体①，農村2,821と極小都市23，計2,844）の工業人口であった．また，自治体②316（農村209と都市107）の工業人口が1,092,771であった（農村自治体総数3,030）．さらに，人口計は自治体①1,300,413，自治体②1,600,091であった．Berufszählung 1907(3), S. 239, 243, 247, 248. Vgl. Kollmann 1913, S. 10. 07年に総人口の59％が工業人口，後者の中の25％（対総人口比15％）が「農村」（自治体①）人口であり，自治体②の工業人口は王国工業人口の40％（対総人口比24％）を占めていたことになる（都市の①と②の合計数は130）．71年の農村と07年の「農村」（自治体①）を単純に比較すると，07年に総人口が71年の1.8倍に増加し，工業人口が4.1倍に激増する中で，「農村」の工業人口は89％に減少したために，「農村」が王国工業人口に占める比率は，57％から25％に，それの対総人口比は29％から15％に，低下した．しかし，両年の農村工業人口を厳密に比較するためには，原表で「農村」と記されている，07年の自治体①は，極小都市23（数では自治体①の0.8％）を含み，自治体②は都市ばかりでなく，農村209（自治体②の66％）も含んでいたから，自治体①と自治体②の工業人口を，農村自治体の工業人口と都市のそれに区分せねばならないけれども，その数値は公表されていない．――人口２千と20千で区分した，07年の都市・農村工業人口を推定してみよう．第１に，人口1.5千以下の自治体を自治体③，1.5－2.5千の自治体を自治体④，2.5－20千の自治体を自治体⑤とすると，1900年に，自治体③のうち都市③18の人口計は20,922，農村③2,747の人口計は1,070,862，自治体④のうち都市④13の人口計26,234，農村④160の人口計303,334，自治体⑤のうち都市⑤99の人口計671,456，農村⑤129の人口計602,350であった（農村総数3,036）．Stat. Jahrbuch 1906, S. 5より計算．したがって，自治体③の人口計の２％が都市，98％が農村，自治体④の人口計の８％が都市，92％が農村，自治体⑤の人口計の53％が都市，47％が農村となり，農村の平均人口は651となる（都市の③，④と⑤の合計数130）．第２に，人口1.5－２千の自治体を⑥とし，２－2.5千の自治体を⑦とすると，05年に人口1.5千以下の自治体③のうち都市③18，農村③2,725，1.5－２千の自治体⑥のうち都市⑥５，農村⑥109，２－2.5千の自治体⑦のうち都市⑦９，農村⑦51，2.5－20千の自治体⑤のうち都市⑤98，農村⑤149であった（農村総数3,034）．Stat. Jahrbuch 1907, S. 51より計算．したがって，自治体③の中の比率は都市③0.7％，農村③99.3％，自治体⑥のうち都市⑥４％，農村⑥96％，自治体⑦のうち，都市⑦15％，農村⑦85％，自治体⑤のうち都市⑤40％，農村⑤60％であった（都市の③，⑤，⑥と⑦の合計130）．自治体数において，05年の都市③は1900年の都市③と同数，05年の都市⑤は1900年の都市⑤と同数であったが，05年の都市⑥(5)＋都市⑦（9）＝14は1900年の都市④（13）よりも１だけ多かった．また，05年の農村③は1900年の農村③よりも27少なく，05年の農村⑤は1900年の農村⑤よりも20多かったが，05年の農村⑥（109）＋農村⑦（51）＝160は1900年の農村④（160）と同数であった．そこで，(1)1900年の農村④の数を05年の農村⑥＋農村⑦のそれと同数と想定し，1900年の都市④の数を13（都市⑥は05年と同数の５，都市⑦は05年の９よりも１少ない８）と想定しよう．(2) 1900年について都市⑥の平均人口を1,500，農村⑥の平均人口を1,700と想定しよう．この想定の下では，都市⑥の人口計は7,500，都市⑦の人口計は26,234－7,500＝18,734（都市⑦の平均人口2,342），農村⑥の人口計は185,300，農村⑦の人口計は303,334－185,300＝118,034（農村⑦の平均人口2,314）となる．そして，①２千以下，すなわち，③＋⑥，の人口計は都市28,422（２％），農村1,256,162（98％），都市＋農村は1,284,584（100％）となり，②２－20千，すなわち，⑦＋⑤，の人口計は都市690,190（49％），農村720,384（51％），都市＋農村は1,410,574（100％）となる．人口計の都市・農村比率①と②を07年の工業人口に当てはめてみると，①の工業人口669,692は都市13,394と農村656,288に区分され，②のそれ，1,092,791は都市535,468と農村557,323に区分される．したがって，農村工業人口計は1,213,611，農村工業人口計が王国工業人口に占める比率は，45％（①24％，②20％）で，それの対王国総人口比は26％（①14％，②12％）と算出される．農村工業人口計の対王国工業人口比は71年の57％から45％に，対総人口比は29％から26％に，低下した．この農村工業人口計は原表の「農村」工業人口の1.8倍であるが，07年に総人口が71年の1.8倍に増加し，工業人口が4.1倍に激増する中で，農村工業人口は71年のそれ（748,673）の1.6倍に留まった．農村工業人口は71年よりも増加したけれども，総人口ほどには増加せず，特に農村工業人口計の対王国工業人口比が低下した．後者は都市の工業人口の激増を示していた．

（注２）馬場 1993，第Ⅱ部を参照．

第９節注

（注１）典拠は第10(2)表1882と同じ．

第10節注

（注１）1849年(1)(1854年公表値）はBerufszählung 1849(1), S. 164-175より計算．Vgl. Berufszählung 1849(2), S. 119（王国）．1861年(1)(1863年公表値）はBerufszählung 1861, S. 75-92より計算．

（注２）1849年(2)(1863年公表値）はBerufszählung 1861, S. 74より，1849年(3)(1875年公表値）はBerufszählung 1871(1), S. 47-48より，1849年(4)(1879年公表値）はBerufszählung 1875, S. 178より，計算．1849年(5)(1886年公表値）はBerufszählung 1882, S. 46（修正された産業別人口はここには公表されていない）．1849年(6)(1910年公表値）はBerufszählung 1907(3), S. 249より，1861年(2)(1875年公表値）はBerufszählung 1871(1), S. 47-48より，1861年(3)(1879年公表値）はBerufszählung 1875, S. 178より，1861年(4)(1886年公表値）はBerufszählung 1882, S. 46より，1861年(5)(1910年公表値）はBerufszählung 1907(3), S. 249より，1871年(1)(1875年公表値）はBerufszählung 1871(1), S. 47-48; Berufszählung 1875, S. 176より，1875年(1)(1879年公表値）

はBerufszählung 1875, S. 176, 179より，1875年(2)(1886年公表値) はBerufszählung 1882, S. 46より，1875年(3)(1910年公表値) はBerufszählung 1907(3), S. 249より，計算.

追加引用文献

Kollmann 1913 = Paul Kollmann, "Die soziale Gliederung der sächsischen Bevölkerung in Vergleichung mit derjenigen des Deutschen Reiches. Eine Untersuchung auf statistischer Grundlage", in *St. Zeitschrift*, Bd. 59.
馬場 1993＝馬場哲，『ドイツ農村工業史　プロト工業化・地域・世界市場』，東京大学出版会.
松尾 2023＝松尾展成，「ザクセン王国経済発展の基礎」，『岡大雑誌』，54巻３号.